



令和4年度

川崎市岡本太郎美術館年報

ANNUAL REPORT 2022.4-2023.3

# 目次

I. 事業報告	1
1. 企画展	
「小松美羽 岡本太郎に挑む—靈性とマンダラ」展	1
「第26回 岡本太郎現代芸術賞（TARO賞）」展	8
2. 常設展	
「太郎の創造展—創らなければ、世界はあまりにも退屈だ」展	11
「岡本太郎とにらめっこ」展	16
3. 共催：協力企画展	
「展覧会 岡本太郎」展	21
4. 収集・保存・貸出	22
収集作品及び資料（購入）	
寄贈作品・資料	
作品修復	
貸出作品及び資料	
5. 情報・刊行物	27
刊行物	
6. 教育・普及事業	28
イベント・ワークショップ	
休館中イベント	
どこでもTAROアトリエ	
団体利用実績	
学校プログラム	
教材開発と利用	
美術館教育研究会	
協カイベント	
7. 施設・設備の整備	44
8. 指定管理者による自主事業	45
9. 川崎市文化芸術振興会議岡本太郎美術館部会	50

<b>II. 資料</b> .....	<b>51</b>
1. 入館者数統計.....	51
令和4年度 月別入館者数	
年度別入館者数	
2. 美術館事業 予算・決算概要.....	53
予算概要	
決算概要	
<b>III. 組織名簿</b> .....	<b>57</b>
川崎市文化芸術振興会議岡本太郎美術館部会 委員名簿	
川崎市岡本太郎美術館 職員名簿	
<b>IV. 川崎市岡本太郎美術館概要</b> .....	<b>58</b>
美術館の目的	
美術館事業内容	
美術館沿革	
施設・設備概要	
<b>V. 川崎市岡本太郎美術館条例・規則</b> .....	<b>62</b>
条例	
条例施行規則	

## I. 事業報告

### 1. 企画展

#### 「小松美羽展 岡本太郎に挑む—靈性とマンダラ」展

会 期	2022年6月25日(土)～8月28日(日)
開催日数	55日
主 催	川崎市岡本太郎美術館
企画協力	Whitestone Gallery、株式会社風土
特別協力	真言宗総本山 東寺
協 賛	株式会社NEW ART HOLDINGS
協 力	出雲大社、長野県長和町 黒曜石体験ミュージアム、 株式会社乃村工藝社、株式会社箔一、株式会社宇佐美松鶴堂
観 覧 料	一般1,000(800)円、高・大学生・65歳以上800(640)円、 中学生以下無料 ※カッコ内は20名以上の団体料金
入場者数	22,332名
1日平均	406名(小数点以下、四捨五入)
図 録	A4
ポスター	B2
チ ラ シ	A4
出品点数	約100点
担 当 者	片岡香、喜多春月、出口智佳子



図録



チラシ



展示風景

#### ■開催趣旨■

小松美羽は、祈りをテーマとして制作する現代アーティスト。女子美術大学短期大学部在学中に銅版画《四十九日》を発表し、注目を集めプロの道へと進んでいきました。渡米を機に、大型の絵画作品を制作するようになり、近年は有田焼等にも制作領域を拡大しています。国内外で精力的に活動し、高い評価を得て《天地の守護獣》が大英博物館に収蔵されたり、《新・風土記》を出雲大社へ奉納したりするなどしています。今回、初公開された《ネクストマンダラー大調和》も東寺に奉納予定です。

本展は、小松美羽の初期作品から最新作までを一堂に会する展覧会。展覧会の核となった「第4章 靈性とマンダラ「大調和」の字「宙」<sup>コスモロジー</sup>」では、岡本太郎《渾沌》を中心に、小松美羽の《ネクストマンダラー大調和》や「エリア21」シリーズ等と岡本太郎作品が対峙する象徴的な空間となりました。さらに、「第5章 未来形の神話たち 抽象と象徴の冒険」では、岡本太郎《明日の神話》に触発されて制作し、同じ5枚パネルで構成した《神話は未来形》を展示。抽象的なモチーフが現れはじめた最新作を発表しました。展覧会の他、内覧会日にはライブペインティング、会期中には子ども向けのワークショップなど、小松美羽作品を身近に感じられるイベントを開催しました。

#### ■主要関連記事・TV・ラジオ放送■

- 2022年6月24日 日本テレビ: News Zero「企画展「小松美羽展 岡本太郎に挑む—靈性とマンダラ」明日より岡本太郎美術館にて一般公開！」
- 2022年6月24日 フジテレビ: Live News it! かけてみたコーナー「企画展「小松美羽展 岡本太郎に挑む—靈性とマンダラ」明日より岡本太郎美術館にて一般公開！」
- 2022年7月9日 BS朝日: 自分流“知”の探究者たち
- 2022年7月14日 神奈川テレビ: Love川崎「企画展「小松美羽展 岡本太郎に挑む—靈性とマンダラ」
- 2022年8月1日 『AERA (アエラ)』8月号、朝日新聞アエラストイルマガジン
- 2022年8月9日 TOKYO FM: THE TRAD

2022年8月14日 NHK Eテレ：日曜美術館アートシーン「小松美羽展 岡本太郎に挑む—霊性とマンダラ」

2022年8月15日 TBS：Nスタ「企画展「小松美羽展 岡本太郎に挑む—霊性とマンダラ」関連ワークショップ」他

## ■関連事業■

### <ライブペインティング>

本展内覧会日に、小松美羽氏によるライブペインティングを行いました。完成した作品は、6月25日（土）よりギャラリースペースにて展示しました。

日 時 2022年6月24日（金）14:00～15:00

場 所 「母の塔」前広場

対 象 プレス関係者、展覧会関係者

作 家 小松美羽

料 金 無料

参加人数 約180名

※新型コロナウイルス感染症予防のため、プレス関係者等を対象に実施



### <関連イベント>

#### ・わたしの・ぼくの神獣・いきものを描こう！

作家から、神獣や狛犬などの聖なる生き物など、制作についての思いを伺い、参加者が自分なりの「聖なる生き物」を自由に描きました。

参加者は初め、いきものをイメージすることがなかなか難しかった様子でしたが、講師の問いや声掛けで次第にのびのびと制作ができました。制作した作品は、8月21日（日）まで、美術館ギャラリースペースで展示しました。

日 時 2022年8月4日（木）14:00～15:30

場 所 創作アトリエ

対 象 中学生以下

講 師 小松美羽

料 金 500円

参加人数 14名（先着順/電話受付）



#### ・神獣を描こう！

8月4日（木）開催のワークショップ「わたしの・ぼくの神獣・いきものを描こう！」での作家の説明を撮影した映像を放映しながら、参加者が「聖なる生きもの」を自由にイメージして絵を描きました。

日 時 2022年8月13日（土）①13:00～13:30 ②13:40～14:10

③15:00～15:30 ④15:40～16:10

場 所 ガイダンスホール

対 象 中学生以下

料 金 無料

参加人数 17名（当日受付）



■出品リスト■

No.	作品名	作家名	材質・形状	制作年	所蔵
1	山犬様 招き	小松美羽	FRP、アクリル、金箔	2018	作家蔵
2	太陽の鐘	岡本太郎	FRP	1966	川崎市岡本太郎美術館
3	祈祷	小松美羽	布、アクリル	2019	作家蔵
4	写真 ポートレート	撮影: 田原 桂一写真		—	作家蔵
5	写真 作家の手	撮影: 田原 桂一写真		—	作家蔵
6	うさぎの裸	小松美羽	紙、鉛筆	2001	作家蔵
7	UNTITLED	小松美羽	銅版画	2002	作家蔵
8	UNTITLED	小松美羽	銅版画	2002	作家蔵
9	UNTITLED	小松美羽	銅版画	2002	作家蔵
10	UNTITLED	小松美羽	銅版画	2002	作家蔵
11	終夏	小松美羽	銅版画	2009	作家蔵
12	UNTITLED	小松美羽	紙、アクリル、ペン	2002	作家蔵
13	UNTITLED	小松美羽	紙、アクリル、水彩、ペン、鉛筆	2002	作家蔵
14	UNTITLED	小松美羽	紙、水彩、ペン	2002	作家蔵
15	ちょんこづいてた頃	小松美羽	銅版画	2004	個人蔵
16	神と子	小松美羽	銅版画	2004	作家蔵
17	煩惱の渦	小松美羽	紙、ペン、鉛筆	2011	個人蔵
18	アユタヤ	小松美羽	紙、ペン、鉛筆	2011	作家蔵
19	生死	小松美羽	銅版画	2005	作家蔵
20	覽死	小松美羽	銅版画	2005	作家蔵
21	1年戦争の終結	小松美羽	銅版画	2007	作家蔵
22	酔いどれ	小松美羽	銅版画	2005	作家蔵
23	輪廻	小松美羽	銅版画	2009	作家蔵
24	四十九日	小松美羽	銅版画	2005	作家蔵
25	六道輪廻	小松美羽	銅版画	2011	作家蔵
26	視覚的聖域と六感的聖域	小松美羽	紙、アクリル、ペン、鉛筆、水彩	2011	個人蔵
27	千曲川の神々	小松美羽	和紙、アクリル 黒ニス、ペン、鉛筆	2012	個人蔵
28	NY～感～	小松美羽	和紙、アクリル、 水彩、ペン、鉛筆	2012	個人蔵

29	NY〜想〜	小松美羽	和紙、アクリル、 水彩、ペン、鉛筆	2012	個人蔵
30	でいらぼっちゃ	小松美羽	板、アクリル、ペン	2012 (2018年加筆)	個人蔵
31	四十九日（銅板切断）	小松美羽	銅板	2005 ※作品発表年	作家蔵
32	上田原古戦場のベビーコマ 様	小松美羽	板、アクリル、ペン	2014	個人蔵
33	真田獣勇士の想い	小松美羽	キャンバス、アクリル	2014	個人蔵
34	泣き声 鳴き声 どうない た	小松美羽	アルシュ紙、アクリル、墨、 ペン	2014	個人蔵
35	こみ上げる 魂の振動に 命を感じたか	小松美羽	アルシュ紙、アクリル、墨、 ペン	2014	個人蔵
36	肉体の朽ちる ざろりとし た音に魂が目覚める	小松美羽	アルシュ紙、アクリル、墨、 ペン	2014	個人蔵
37	新・風土記	小松美羽	紙、アクリル、墨、ペン、 ダイヤモンド	2014	出雲大社
38	灯し続け、歩き続け	小松美羽	和紙、アクリル、墨、箔	2016	作家蔵
39	Pray for Prosperity—幸せ に生まれ、幸せに栄える—	小松美羽	キャンバス、アクリル、箔	2016	個人蔵
40	河口湖の民話	小松美羽	板、アクリル、墨	2013-2018	個人蔵
41	ベネチアの街灯の光、 水面に映るシーライオン	小松美羽	キャンバス、アクリル、ミク ストメディア	2019	個人蔵
42	動き出すエンティティ	小松美羽	キャンバス、ミクストメディ ア	2016	個人蔵
43	シーライオン 川辺に吹く黄金の風	小松美羽	パネル、博多織、アクリル	2019	個人蔵
44	悪よ去れ	小松美羽	キャンバス、アクリル	2016	個人蔵
45	天地の守護獣	小松美羽	有田焼	2015	作家蔵
46	宇宙吠え獅子	小松美羽	有田焼	2016	作家蔵
47	魂を見つめる守護獣	小松美羽	有田焼	2016	個人蔵
48	Area21—from 星糞峠	小松美羽	キャンバス、ミクストメディ ア、箔	2022	作家蔵
49	神獣—エリア1	小松美羽	キャンバス、ミクストメディ ア、箔	2017	個人蔵
50	神獣—エリア3	小松美羽	キャンバス、ミクストメディ ア、箔	2017	個人蔵

51	神獣—エリア 5	小松美羽	キャンバス、ミクストメディ ア、箔	2017	個人蔵
52	神獣—エリア 7	小松美羽	キャンバス、ミクストメディ ア、箔	2017	個人蔵
53	神獣—エリア 8	小松美羽	キャンバス、ミクストメディ ア、箔	2017	個人蔵
54	神獣—エリア 9	小松美羽	キャンバス、ミクストメディ ア、箔	2017	個人蔵
55	神獣—エリア 10	小松美羽	キャンバス、ミクストメディ ア、箔	2017	個人蔵
56	神獣—エリア 11	小松美羽	キャンバス、ミクストメディ ア、箔	2017	個人蔵
57	神獣—エリア 12	小松美羽	キャンバス、ミクストメディ ア、箔	2017	個人蔵
58	神獣—エリア 13	小松美羽	キャンバス、ミクストメディ ア、箔	2017	個人蔵
59	神獣—エリア 15	小松美羽	キャンバス、ミクストメディ ア、箔	2017	個人蔵
60	神獣—エリア 16	小松美羽	キャンバス、ミクストメディ ア、箔	2017	個人蔵
61	神獣—エリア 18	小松美羽	キャンバス、ミクストメディ ア、箔	2017	個人蔵
62	ネクストマンダラ—大調和	小松美羽	掛け軸（本紙のみ）	2022	作家蔵
63	NEXT MANDALA—魂の故郷	小松美羽	キャンバス、アクリル	2021	個人蔵
64	黒曜石—透明なる渾沌	小松美羽	黒曜石	2022	作家蔵
65	渾沌	岡本太郎	ブロンズ	1962	川崎市岡本太 郎美術館
66	山犬様 守護	小松美羽	FRP、アクリル、金箔	2018	作家蔵
67	山犬様 振り返り振り返り	小松美羽	FRP、アクリル、金箔	2018	個人蔵
68	山犬様 和になる	小松美羽	FRP、アクリル、金箔	2018	作家蔵
69	山犬様 相思相愛	小松美羽	FRP、アクリル、金箔	2018	作家蔵
70	正しき道への道標	小松美羽	キャンバス、アクリル、金箔	2020	個人蔵
71	清水の夕日	小松美羽	キャンバス、アクリル、金箔	2020	個人蔵
72	連結～神話は未来形～	小松美羽	キャンバス、アクリル、金箔、 銀箔	2022	作家蔵
73	黄金の風、指差す先は数多の 未来	小松美羽	キャンバス、アクリル	2019	個人蔵

74	高野山で祈る人々を今も、これからも見守りつづけている山犬さまたち	小松美羽	キャンバス、アクリル	2021	作家蔵
75	清らかな日々と心願	小松美羽	キャンバス、アクリル、金箔	2022	作家蔵
76	双の星の宿命を持つ神獣、そして門は開かれる	小松美羽	キャンバス、アクリル	2019	個人蔵
77	修行から帰ってきた山犬様を迎える	小松美羽	キャンバス、アクリル	2021	個人蔵
78	エネルギーの道を歩く	小松美羽	キャンバス、アクリル	2021	個人蔵
79	ここが私のアナザースカイ 伊勢・出雲	小松美羽	キャンバス、アクリル	2021	作家蔵
80	炎暑厳寒の門番を守護する三頭	小松美羽	キャンバス、アクリル	2021	個人蔵
81	仁王狛犬	小松美羽	キャンバス、アクリル	2022	作家蔵
82	地球と天の精粹を祈る	小松美羽	キャンバス、アクリル、金箔	2021	個人蔵
83	宇宙と地球の調和を祈る	小松美羽	キャンバス、アクリル、金箔	2021	個人蔵
84	門前の守護拒魔犬	小松美羽	キャンバス、アクリル、金箔、銀箔	2022	作家蔵
85	エンテレヒーの形 —肥沃な大地	小松美羽	キャンバス、アクリル	2022	作家蔵
86	エンテレヒーの形 —真水	小松美羽	キャンバス、アクリル	2022	作家蔵
87	エンテレヒーの形 —電塊	小松美羽	キャンバス、アクリル	2022	作家蔵
88	エンテレヒーの形 —蕾	小松美羽	キャンバス、アクリル	2022	作家蔵
89	エンテレヒーの形 —天雨	小松美羽	キャンバス、アクリル	2022	作家蔵
90	エンテレヒーの形 —進光	小松美羽	パネル、アクリル	2022	作家蔵
91	エンテレヒーの形 —変態	小松美羽	キャンバス、アクリル	2022	作家蔵
92	エンテレヒーの形 —星の創造	小松美羽	キャンバス、アクリル	2022	作家蔵
93	神話は未来形	小松美羽	キャンバス、アクリル	2022	作家蔵
94	悪を見るな-山犬-	小松美羽	FRP、アクリル、金箔	2022	作家蔵
95	悪を言うな-山犬-	小松美羽	FRP、アクリル、金箔	2022	作家蔵
96	悪を聞くな-山犬-	小松美羽	FRP、アクリル、金箔	2022	作家蔵
97	大河への道	小松美羽	キャンバス、アクリル	2021	作家蔵
98	ライブペイント【古の神】	小松美羽	アクリル	2012	個人蔵
99	ライブペイント【神仏戦争】	小松美羽	アクリル	2012	個人蔵

---

100	ライブペイント【母の塔に見 守られて】	小松美羽	アクリル	2022	作家蔵
-----	------------------------	------	------	------	-----

---

## 「第26回岡本太郎現代芸術賞（TARO賞）」展

会 期	2023年2月18日(土)～4月16日(日)
開催日数	48日
主 催	川崎市岡本太郎美術館、 公益財団法人岡本太郎記念現代芸術振興財団
観 覧 料	一般700(560)円、高・大学生・65歳以上500(400)円、 中学生以下無料 ※カッコ内は20名以上の団体料金
入場者数	18,104名
1日平均	352名(小数点以下、四捨五入)
図 録	リーフレットA5(無料配布)
ポスター	B2
チ ラ シ	長形はがきサイズ
出品点数	23点
担 当 者	富永ももこ、鈴木亜優、出口智佳子、片岡香



リーフレット



DM



展示風景

### ■開催趣旨■

時代に先駆けて、たえず新たな挑戦を続けてきた岡本太郎。岡本太郎現代芸術賞は、岡本の精神を継承し、自由な視点と発想で、現代社会に鋭いメッセージを突きつける作家を顕彰するべく設立されました。今年で26回目をむかえる本賞では、595点の応募があり、創造性あふれる23名の作家が入選。また最終審査を経て、特別賞4名が決定しました。なお、岡本太郎賞、岡本敏子賞については「該当者なし」という結果になりました。

### ■受賞者■

- 特 別 賞 足立 篤史《OHKA》
- 特 別 賞 澤井 昌平《風景》
- 特 別 賞 関本 幸治《1980年のアイドルのノーバン始球式》
- 特 別 賞 レモコ・レイコ《君の待つところへ》



授賞式風景

### ■主要関連記事・TV・ラジオ放送■

- 「第26回岡本太郎現代芸術賞(TARO賞)」展『美術手帳(WEB版)』2023年2月18日
- 「17年ぶり最高賞なし」『東京新聞』2023年2月19日
- 「傾向と対策よりも 爆発だ!」『朝日新聞』2023年2月28日
- 「戦争 芸術作品で表現」『読売新聞』2023年3月2日
- 「芸術は爆発だ!」『神奈川新聞』2023年3月3日
- 「第26回岡本太郎現代芸術賞(TARO賞)」受賞者決定『新美術新聞』2023年3月11日

## ■関連事業■

### ・お気に入りを選ぼう

日時 2023年2月18日(土)～3月19日(日)  
 内容 展示されている23点のTARO賞作品の中から、来館者がお気に入りの作品を選ぶイベント。受付で配布するカードにつけた赤いシールを、企画展示室出口にある投票ボードに貼って投票していただきました。1位の作品をオーディエンス賞とし、3位までにランクインした作家の皆さんに記念品を贈呈しました。

場所 ギャラリースペース

投票結果 1位 西 除闇《MANgaDARA》  
 2位 都築 崇広《構造用合板都市図》  
 3位 柴田 英昭《コラーージュ川柳》

参加人数 4,771名



### ・お手紙プロジェクト

日時 2023年2月18日(土)～4月16日(日)  
 内容 来館者が第26回TARO賞の入選作家や作品に向けて、自分の思いや感想を書いた手紙をポストに投函しました。書かれた手紙はギャラリーの壁に展示し、作家から返事をもらえることも。来館者と作家が手紙を通じてつながるプロジェクトです。

場所 ギャラリースペース



### ・リレートーク（全4回）

日時 2023年3月11日(土)、3月19日(日)、4月8日(土)、4月16日(日)

内容 出品作家によるギャラリートークです。

作家 奥野宏、空箱二郎、川上一彦、ながさわたかひろ、足立篤史、NISHINO HARUKA、高田哲男、西除闇、山田愛、大洲大作、柴田英昭、関本幸治、Hexagon artist®、山田優アントニ、澤井昌平、牛尾篤、都築崇広、川端健太、平向功一、千原真実、宮本佳美（全21名）

## ■出品リスト■

No.	作家名／作品名	素材・技法	作品サイズ(cm)
1	足立 篤史 《OHKA》	新聞（昭和19～20年発行、日本）、図引和紙、コンニャク糊、送風機	100×500×600
2	池田 はなえ 《森のハーモニー》	木材、アクリル絵具、銅線、ガラスアイ、パテ、粘土、フェイクグリーン	300×400×100
3	牛尾 篤 《黒と赤》	油絵具、キャンバス	500×500×4
4	大洲 大作 《Loop Line》	通勤電車の模型、監視カメラのリアルタイム映像、通勤電車の車窓と車窓を撮影した写真、踏切警報灯、勤務先の要請によりグループ内に共有された体温計測の写真	500×500×500
5	奥野 宏 《チミモウリョウの宴》	大桑村の土、土器、陶器、解体材の木材、鉄、アクリル絵具、クレヨン	90×360×360
6	空箱二郎 《アドレナリン症候群》	革	230×160×0.5

7	川上 一彦 《ちゃいおすていっくじえーびー》	コラージュ（和紙プリント）、かけ軸、糸、三輪車、木箱、筒	500×500×150
8	川端 健太 《そこに見えて居ない》	木製パネル、綿布、油彩、鉛筆、アクリルエマルジョン、ジュスモナイト	330×400×50
9	澤井 昌平 《風景》	キャンバス、油彩、アクリル、コラージュ	500×500×500
10	柴田 英昭 《コラージュ川柳》	A4 コピー紙、古新聞、糊	500×500×500
11	関本 幸治 《1980年のアイドルのノーバン始球式》	自ら制作して撮影するためのセット・素材はミクストメディア	500×500×500
12	高田 哲男 《B. B. B. (Black Ballpoint Blues)》	ボールペン、鉛筆、絵具、ハガキ用紙、クリアフォルダ	500×500
13	千原 真実 《6・6・6》	パネル、キャンバス	80.3×391.2× 10, 23×23, 25× 30, 11×25
14	都築 崇広 《構造用合板都市図》	構造用合板、軽量鉄骨、角材	400×500×400
15	ながさわ たかひろ 《愛の肖像画》	鉛筆、水彩、アクリル絵具	500×500×500
16	西 除闇 《MANgaDARA》	少年ジャンプ（古紙）	100×500×500
17	NISHINO HARUKA 《てんとう虫ダルマ-2022-》	紙粘土、発砲スチロール、アクリル絵具、耐水性ペン、和紙、スチレンボード、ビーズ、リボン、レース、ワイヤー	300×400×100
18	平向 功一 《流氓》	岩絵具、膠、木材、鉄 他	400×90×140
19	Hexagon artist® 《宇宙儀式》	情熱、アイデア、人々の協力	500×500×500
20	宮本 佳美 《To see tomorrow》	綿布に水彩、アクリル	162×333.3×4 116.7×90.9× 3.7
21	山田 愛 《ひとつに還れたなら》	和紙、墨、胡粉、岩絵具、石、その他	215×500×300
22	山田優アントニ 《portrait》	油彩、キャンバス	486×391×3
23	レモコ-レイコ 《君の待つところへ》	ペン、アクリル、墨、紙、布、プラスチックダンボール	500×500×500

## 2. 常設展

### 「太郎の創造展—創らなければ、世界はあまりにも退屈だ」展

会 期	2022年5月12日(木)～8月31日(水)
開催日数	95日
観 覧 料	一般500(400)円、高大学生・65歳以上300(240)円、中学生以下無料 ※カッコ内は20名以上の団体料金 ※企画展開催期間中は、企画展とのセット料金に変わります
出品点数	135点
担 当 者	鈴木亜優、千村曜子、佐藤玲子



ポスター

#### ■開催趣旨■

はっきりとした原色の色彩とエネルギッシュな筆のタッチが特徴的な絵を描く岡本太郎。

彼の作品は、どのように生み出されるのでしょうか。

1960年代から取り組み始めた“呪術性”のある抽象絵画のように、アドリブで思いのままに描いているようにもみえる作風の岡本ですが、じつは下書き（ドローイング）をしっかりと描いてから制作しています。

本展は、岡本太郎の作品の制作過程をテーマに、人となりや芸術観、技法にふれながら、ドローイングや絵画、立体作品などを紹介します。

サブタイトルの「創らなければ、世界はあまりにも退屈だ」（芸術と遊び—危機の接点『原色の呪文 現代の芸術精神』講談社）は、岡本自身による問い “どうして芸術なんかやるのか” の答えとなった言葉です。

展示を通して、作品づくりに没頭する楽しさを感じとってみましょう。

#### ■関連イベント■

- ・ガイドブック配布「ひらく・そうぞう展」

内 容 常設展会期中、ドローイング・油絵の制作方法や FRP という素材について簡単にまとめた子ども向けガイドブックを配布しました。ページを開くと、ドローイングと完成作品が見比べることができ、作品が出来上がるまでの流れを感じることができます。

配布期間 2022年7月23日(土)～8月17日(水) 9:30～17:00

配布場所 常設展示室入口

配布枚数 2,940枚

※ その他は、教育・普及事業のイベント・ワークショップの頁に記載



#### ■出品リスト■

No.	作品名	作者	制作年	材質・技法等
1	神話	岡本太郎	1980	FRP
2	太陽の鐘	岡本太郎	1966	FRP
3	アドレッサン	岡本太郎	1961	紙、鉛筆、墨
4	アドレッサン	岡本太郎	1961	油彩・キャンバス
5	黒い顔	岡本太郎	1963	油彩・キャンバス
6	赤のアイコン	岡本太郎	1961	油彩・キャンバス
7	天空に我あり	岡本太郎	1964	紙、墨
8	天空に我あり	岡本太郎	1965	紙、鉛筆、墨

9	天空に我あり	岡本太郎	1966	紙、鉛筆
10	天空に我あり	岡本太郎	1967	紙、墨
11	天空に我あり	岡本太郎	1967	油彩・キャンバス
12	翔ぶ赤	岡本太郎	1979	油彩・キャンバス
13	風神	岡本太郎	1961	油彩・キャンバス
14	眼	岡本太郎	1988	リトグラフ・油彩・紙
15	炎	岡本太郎	1988	リトグラフ・油彩・紙
16	至上命令	岡本太郎	1988	リトグラフ・油彩・紙
17	まひる	岡本太郎	1988	リトグラフ・油彩・紙
18	赤	岡本太郎	1974	シルクスクリーン、紙、絵具
19	エクセホモ	岡本太郎	1974	シルクスクリーン、紙、絵具
20	遭遇	岡本太郎	1981	油彩・キャンバス
21	坐ることを拒否する椅子	岡本太郎	1963	陶磁
22	リョウラン	岡本太郎	1989	FRP
23	犬	岡本太郎	1954	紙、鉛筆
24	犬	岡本太郎	1954	紙、鉛筆
25	犬	岡本太郎	1954	紙、鉛筆、コンテ
26	犬	岡本太郎	1954	紙、鉛筆、墨
27	犬	岡本太郎	1954	油彩・キャンバス
28	哄笑	岡本太郎	1953	紙、鉛筆
29	哄笑	岡本太郎	1972	油彩・キャンバス
30	子供の時間	岡本太郎	1975	FRP
31	具現	岡本太郎	1961	紙、墨
32	具現	岡本太郎	1961	油彩・キャンバス
33	ひそやかな跳躍	岡本太郎	1963	油彩・キャンバス
34	飛ぶ眼	岡本太郎	1961	油彩・キャンバス
35	マラソン	岡本太郎	1964	油彩・キャンバス
36	マラソン	岡本太郎	1964	紙、墨
37	マラソン	岡本太郎	1964	紙、墨
38	マラソン	岡本太郎	1964	紙、墨
39	マラソン (作品サンプル)	—	不明	木、発砲スチロール
40	美女と野獣	岡本太郎	1949	紙、鉛筆、インク、墨
41	美女と野獣	岡本太郎	1949	紙、鉛筆、インク
42	美女と野獣	岡本太郎	1949	油彩・キャンバス
43	呼ぶ	岡本太郎	1964	油彩・キャンバス
44	死の灰	岡本太郎	1958	紙、鉛筆、インク、墨
45	神女	岡本太郎	1962	紙、絵具

46	眼と眼	岡本太郎	1977	銅版画、紙、絵具
47	石と樹	岡本太郎	1977	銅版画、紙、絵具
48	風神	岡本太郎	1977	銅版画、紙、絵具
49	太陽の塔	岡本太郎	1970	FRP
50	ひらく肖像	岡本太郎	不明	石膏
51	不明	岡本太郎	不明	石膏
52	若い時計台	岡本太郎	1966	紙、鉛筆
53	若い時計台	岡本太郎	1966	紙、鉛筆
54	若い時計台	岡本太郎	1966	紙、鉛筆
55	若い時計台	岡本太郎	1966	紙、鉛筆
56	若い時計台	岡本太郎	1966	紙、鉛筆
57	若い時計台	岡本太郎	1966	アルミニウム、RC、金属、時計、 ライト
58	天に舞う	岡本太郎	1973	紙、鉛筆
59	天に舞う	岡本太郎	1973	紙、鉛筆
60	天に舞う	岡本太郎	1973	紙、鉛筆
61	天に舞う	岡本太郎	1973	紙、鉛筆
62	天に舞う	岡本太郎	1974	FRP
63	動物	岡本太郎	1959	コンクリート
64	眼と眼—コミュニケーション	岡本太郎	1980	FRP
65	躍進	岡本太郎	1972	FRP
66	マスク	岡本太郎	1970	FRP
67	マスク	岡本太郎	1970	FRP
68	マスク	岡本太郎	1970	FRP、紐
69	若い太陽の顔	岡本太郎	1969	FRP
70	マスク	岡本太郎	1970	FRP
71	駄々っ子(椅子)	岡本太郎	1969	FRP
72	手の椅子	岡本太郎	1967	FRP
73	ひもの椅子	岡本太郎	1967	木、紐
74	サイコロ椅子	岡本太郎	1957	籐
75	ゆったり	岡本太郎	1956	木、布
76	邂逅	岡本太郎	1971	FRP
77	ティーテーブル 遊び	岡本太郎	1967	合板、金属
78	まどろみ	岡本太郎	1967	FRP、布、金属
79	スモーキングセット	岡本太郎	1952	陶器
80	歩み	岡本太郎	1967	陶器
81	人間ボトル	岡本太郎	1985	陶器

82	あし	岡本太郎	1978	ガラス
83	水差し男爵	岡本太郎	1977	ガラス
84	緑の太陽	岡本太郎	1969	ガラス
85	いこい	岡本太郎	1978	ガラス
86	太陽	岡本太郎	1978	ガラス
87	風鐸	岡本太郎	1966	ブロンズ
88	呼ぶB	岡本太郎	1990	FRP
89	平和を呼ぶ	岡本太郎	1988	FRP
90	戦士	岡本太郎	1971	FRP
91	呼ぶA	岡本太郎	1990	FRP
92	燃える手	岡本太郎	1965	蝋
93	未来を拓く	岡本太郎	1987	FRP
94	樹人	岡本太郎	1971	FRP
95	河童像	岡本太郎	1981	FRP
96	青い手	岡本太郎	1981	FRP
97	赤い手	岡本太郎	1981	FRP
98	歓喜	岡本太郎	1977	陶磁
99	横たわる	岡本太郎	1981	陶磁
100	ひらく肖像	岡本太郎	1982	陶磁
101	飛翔	岡本太郎	1977	陶磁
102	踊り	岡本太郎	1982	陶磁
103	渾沌	岡本太郎	1979	陶磁
104	日中テレビ祭 日本代表団メダル	岡本太郎	1984	アルミ
105	国際眼科学会メダル	岡本太郎	1978	ブロンズ
106	フランス造幣局メダル	岡本太郎	1986	銀、金メッキ
107	国鉄民営化記念 オリジナルメダル《出発》	岡本太郎	1987	銀
108	トランプ	岡本太郎	1977	紙
109	いのち	岡本太郎	1986	アルミ
110	手の椅子	岡本太郎	1970	プラスチック
111	日本海博覧会	岡本太郎	1973	金属
112	不明	岡本太郎	不明	金属
113	太陽の顔	岡本太郎	1970	金属
114	花ひらく	岡本太郎	1977	陶磁
115	顔	岡本太郎	1977	陶磁
116	爆発	岡本太郎	1981	陶磁
117	ほほえみ	岡本太郎	1986	陶磁

118	動物	岡本太郎	1956	ブロンズ
119	愛情	岡本太郎	1965	ガラス
120	まつげ	岡本太郎	1978	ガラス、ステンレス
121	顔	岡本太郎	1990	ガラス
122	顔のプレート	岡本太郎	1976	ガラス
123	人間ボトル	岡本太郎	1985	陶磁
124	火の接吻	岡本太郎	1970	セラミック、プラスチック
125	太陽	岡本太郎	1965	プラスチック
126	近鉄バファローズ	岡本太郎	不明	布
127	未来を拓く	岡本太郎	1967	ブロンズ
128	太郎の手の時計	岡本太郎	1972	FRP
129	顔	岡本太郎	1978	革
130	海の幸山の幸	岡本一平	不明	紙、墨、絵具
131	漫画色紙	岡本一平	不明	紙、墨、鉛筆
132	女體開頭	岡本かの子	1943	書籍
133	観音経	岡本かの子	不明	紙
134	伊豆の海に白波たてば	岡本かの子	不明	紙、墨
135	老妓抄 川	岡本かの子	1939	書籍

## 「岡本太郎とにらめっこ」展

会 期 2023年2月1日(水)～4月16日(日)  
開催日数 63日  
観 覧 料 一般500(400)円、高大学生・65歳以上300(240)円、中学生以下無料  
※カッコ内は20名以上の団体料金  
※企画展開催期間中は、企画展とのセット料金に変わります  
出品点数 約120点  
担 当 者 出口智佳子、片岡香



ポスター

### ■開催趣旨■

岡本太郎の作品には、初期から晩年までを通して、多くの人間や生き物が登場します。1960年代後半からは特に、作品の中に「顔」のモチーフが増えていきました。岡本は「わが世界美術史」(1970)連載執筆のために東西の様々な地を訪れ、現地の人々の生活や文化を取材しました。後年の著書『美の世界旅行』(1982)では、「世界の美のあらゆる層に何と様々な顔があり、また眼があるのだろう。(…)一つの顔の宇宙の中に、また無限の顔、そして目玉が光っている。言いようのない実在感をもって」と語っています。彼にとって世界の様相は、無限な「顔」がひしめき合い、成されたものと言えるでしょう。

さらに岡本は、それを実証するかのように、身の回りの物、椅子やグラス、スピーカーにも眼、鼻、口を表し、あらゆる物に「生命」を与えました。本展では「世界」を様々な表情に溢れたものとして捉えた岡本太郎が描いた沢山の顔たちを紹介します。

### ■関連イベント■

#### ・蘇るVR太陽の塔 Ver. 5

大阪万博で岡本太郎が制作した《太陽の塔》は、彼の代表作品として知られ、現在でも多くの人びとに親しまれています。今回のイベントは、日本工業大学の学生が製作、再現した1970年当時の《太陽の塔》VRを見学するものです。3D映像は会期中(2月1日～16日)に第3展示室でモニターにて上映し、VRゴーグルを装着したイベントは2日に渡って開催しました。



VR体験日程：2023年3月①4日(土) ②5日(日) 11:00～16:00

場 所 ガイダンスホール  
料 金 無料(要観覧料)  
協 力 日本工業大学 情報メディア学科  
参加人数 ①59名 ②61名(当日受付)

#### ・ワークショップ「創ってみよう！わたしの“こころの街”！—子ども当事者研究×岡本太郎美術館」

子どものころには、他の人には伝えていない空想の世界「こころの街」があります。ワークショップでは、そんな「こころの街」の光景を、模造紙や紙コップ、スポンジなど、身近なモノを使って表現し、対話するワークショップです。



日 程 2023年3月12日(日) 13:30～15:30  
場 所 アトリエ、常設展示室  
対 象 小・中学生(保護者同伴)  
料 金 無料(保護者のみ要観覧料)  
講 師 向谷地宜明、江連麻紀(子ども・子育て当事者研究ネットワーク ゆるふわ) 富田誠(東海大学)  
参加人数 9組(子ども11名、大人7名)(先着順/電話受付)

## ■出品リスト■

No.	作品名	作者	制作年	材質・技法等
1	月の顔	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック
2	二つの顔	岡本太郎	1957	キャンバス、油彩
3	夢の鳥	岡本太郎	1951	キャンバス、油彩
4	犬	岡本太郎	1954	キャンバス、油彩
5	喫煙者	岡本太郎	1951	キャンバス、油彩
6	遊ぶ子	岡本太郎	1954	キャンバス、油彩
7	裂けた顔	岡本太郎	1960	キャンバス、油彩
8	海辺の肖像	岡本太郎	1973	キャンバス、油彩
9	マラソン	岡本太郎	1964	キャンバス、油彩
10	眼	岡本太郎	1975	紙、絵具
11	視る	岡本太郎	1974	紙、絵具
12	挑み	岡本太郎	1988	紙、油絵具
13	至上命令	岡本太郎	1988	紙、油絵具
14	炎	岡本太郎	1988	紙、油絵具
15	まひる	岡本太郎	1988	紙、油絵具
16	愛	岡本太郎	1981	紙、絵具
17	夢	岡本太郎	1980	紙、絵具
18	顔 III	岡本太郎	1968	キャンバス、油彩
19	呼ぶA	岡本太郎	1990	繊維強化プラスチック
20	赤い顔	岡本太郎	1979	キャンバス、油彩
21	顔・顔・顔	岡本太郎	1980	キャンバス、油彩
22	ツラ	岡本太郎	1983	キャンバス、油彩
23	駄々っ子	岡本太郎	1980	キャンバス、油彩
24	子供の時間	岡本太郎	1975	繊維強化プラスチック
25	にらめっこ	岡本太郎	1980	キャンバス、油彩
26	赤のアイコン	岡本太郎	1961	キャンバス、油彩
27	飛ぶ眼	岡本太郎	1961	キャンバス、油彩
28	ひそやかな跳躍	岡本太郎	1963	キャンバス、油彩
29	幻花	岡本太郎	1983	キャンバス、油彩
30	呼ぶB	岡本太郎	1990	繊維強化プラスチック
31	呼ぶ	岡本太郎	1984	キャンバス、油彩
32	眼の樹	岡本太郎	1978	キャンバス、油彩
33	眼	岡本太郎	1985	キャンバス、油彩
34	眼と眼	岡本太郎	1978	キャンバス、油彩

35	夜の会合	岡本太郎	1973	キャンバス、油彩
36	仮面劇	岡本太郎	1980	キャンバス、油彩
37	マスク	岡本太郎	1985	キャンバス、油彩
38	黒い顔	岡本太郎	1963	キャンバス、油彩
39	行列	岡本太郎	1981	キャンバス、油彩
40	動物	岡本太郎	1959	コンクリート
41	太陽	岡本太郎	1970	紙、絵具
42	太陽の塔 立面図	岡本太郎	不明	トレーシングペーパー、鉛筆
43	生命の樹・生物スケッチ	岡本太郎	不明	トレーシングペーパー、インク、鉛筆
44	万博の鍵	岡本太郎	1970	繊維強化プラスチック
45	太陽の塔	岡本太郎	1970	コンクリート、繊維強化プラスチック
46	眼と眼—コミュニケーション	岡本太郎	1980	繊維強化プラスチック
47	躍進	岡本太郎	1972	繊維強化プラスチック
48	マスク	岡本太郎	1970	繊維強化プラスチック
49	若い太陽の顔	岡本太郎	1969	繊維強化プラスチック
50	ゆったり	岡本太郎	1956	木、布
51	ひもの椅子	岡本太郎	1967/ 再制作： 2005	木、紐
52	手の椅子	岡本太郎	1997	繊維強化プラスチック
53	駄々っ子	岡本太郎	1969	繊維強化プラスチック
54	坐ることを拒否する椅子	岡本太郎	1963/ 再制作： 1998	陶器
55	河童像	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック
56	赤い手	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック
57	青い手	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック
58	風鐸	岡本太郎	1966	ブロンズ
59	若い時計台	岡本太郎	1966	アルミ、コンクリート、金属、ライト
60	燃える手	岡本太郎	1965	蝋
61	湧き上がる	岡本太郎	1989	ブロンズ
62	月の顔	岡本太郎	1981	繊維強化プラスチック
63	踊り	岡本太郎	1982	繊維強化プラスチック
64	千手	岡本太郎	1975	繊維強化プラスチック

65	未来を視る	岡本太郎	1984	繊維強化プラスチック
66	樹人	岡本太郎	1971	繊維強化プラスチック
67	歓喜	岡本太郎	1977	繊維強化プラスチック
68	横たわる	岡本太郎	1981	陶磁
69	ひらく肖像	岡本太郎	1982	陶磁
70	飛翔	岡本太郎	1977	陶磁
71	踊り	岡本太郎	1982	陶磁
72	渾沌	岡本太郎	1979	陶磁
73	花びらの椅子	岡本太郎	1970	繊維強化プラスチック
74	顔の椅子	岡本太郎	1953	木
75	ティーテーブル 遊び	岡本太郎	1967	合板、金属
76	顔のスピーカー	岡本太郎	1971	布、木、繊維強化プラスチック
77	トランプ	岡本太郎	1977	紙
78	顔のグラス	岡本太郎	1976	ガラス
79	人間ボトル	岡本太郎	1985	陶磁
80	火の接吻	岡本太郎	1970	セラミック、プラスチック
81	不明 (ライター)	岡本太郎	不明	金属
82	水差し男爵	岡本太郎	1977	ガラス
83	夢の鳥	岡本太郎	1977	陶磁
84	白梅	岡本かの子	1929 年以降	絹・墨
85	観音経	岡本かの子	制作年不明	紙
86	生々流転	著者：岡本かの子/ 装幀：岡本太郎	1940	書籍
87	ある夫婦の六態・浮世六態	岡本一平	制作年不明	墨、絵具・紙
88	三政治家の肖像	岡本一平	制作年不明	墨・紙
89	日中テレビ祭 日本代表団メダル	岡本太郎	1984	アルミ
90	国際眼科学会メダル	岡本太郎	1978	ブロンズ
91	フランス造幣局メダル	岡本太郎	1986	銀、金メッキ
92	“国鉄民営化記念オリジナルメダル 《出発》”	岡本太郎	1987	銀
93	トランプ	岡本太郎	1977	紙
94	いのち	岡本太郎	1986	アルミ
95	手の椅子	岡本太郎	1970	プラスチック
96	日本海博覧会	岡本太郎	1973	金属

97	不明	岡本太郎	不明	金属
98	太陽の顔	岡本太郎	1970	金属
99	花ひらく	岡本太郎	1977	陶磁
100	顔	岡本太郎	1977	陶磁
101	爆発	岡本太郎	1981	陶磁
102	ほほえみ	岡本太郎	1986	陶磁
103	動物	岡本太郎	1956	ブロンズ
104	愛情	岡本太郎	1965	ガラス
105	まつげ	岡本太郎	1978	ガラス、ステンレス
106	顔	岡本太郎	1990	ガラス
107	顔のプレート	岡本太郎	1976	ガラス
108	人間ボトル	岡本太郎	1985	陶磁
109	火の接吻	岡本太郎	1970	セラミック、プラスチック
110	太陽	岡本太郎	1965	プラスチック
111	近鉄バファローズ	岡本太郎	不明	布
112	未来を拓く	岡本太郎	1967	ブロンズ
113	太郎の手の時計	岡本太郎	1972	繊維強化プラスチック
114	顔	岡本太郎	1978	革
115	不明（スカーフ）	岡本太郎	1975	シルクシフォン

### 3. 共催・協力企画展

#### 「展覧会 岡本太郎」展

会場・会期 大阪中之島美術館：2022年7月23日（土）～10月2日（日）、

東京都美術館：2022年10月18日（土）～12月28日（水）

愛知県美術館：2023年1月14日（土）～3月14日（火）

主催 大阪中之島美術館：大阪中之島美術館、公益財団法人岡本太郎記念現代芸術振興財団、川崎市岡本太郎美術館、NHK大阪放送局、NHKエンタープライズ近畿

東京都美術館：公益財団法人東京都歴史文化財団 東京都美術館、公益財団法人岡本太郎記念現代芸術振興財団、

川崎市岡本太郎美術館、NHK、NHKプロモーション

愛知県美術館：愛知県美術館、公益財団法人岡本太郎記念現代芸術振興財団、川崎市岡本太郎美術館、NHK名古屋放送局、NHKエンタープライズ中部

協賛 NISSHA、三井住友海上

貸出点数 各会場 80点



大阪会場チラシ



東京会場チラシ



愛知会場チラシ

## 4. 収集・保存・貸出

## 収集作品及び資料（購入）

作者名	作品名	購入元	摘要
岡本太郎	ひもの椅子	株式会社 良品計画 イデーショップ自由が丘店	4脚
岡本太郎	ゆったり	株式会社 良品計画 イデーショップ自由が丘店	3脚

## 寄贈作品・資料

作者名	作品名	摘要
岡本一平・太郎	岡本一平関係資料	一式
岡本一平	荻部雪江氏あて書簡	一通
岡本太郎ほか	丸山尚一氏関係資料資料	一式
—	万博関係資料	一式

## 作品修復

作品名	作者名	制作年	分類	作品番号	修復内容	修復者
ハルネス・シュナイダー 記念碑	岡本太郎	1975	レリーフ	2L00074	画面洗浄、付着物除去、欠損部充填、同充填部補彩、補細部艶調整	有限会社 吉村美術 研究所
東京オリンピック参加記念メダル	岡本太郎	1975	レリーフ	1000075		
太陽の塔	岡本太郎	1970	彫刻	2S00035	損傷部充填、同充填部補彩、補細部艶調整、X線撮影	
樹霊 I	岡本太郎	1970	彫刻		洗浄、現状調査、コーティング	有限会社 ブロンズ スタジオ
女	岡本太郎	1976	彫刻	2S00045		
月の顔	岡本太郎	1981	彫刻	2S00052		
母の塔	岡本太郎	1999	シンボル タワー		塔内部現状調査、排水口清掃、除湿機交換、漏水点検（人型パーツ接合部等）	

## 貸出作品及び資料

本年度貸出作品：2件、143点

作品名	作家名	制作年	分類	展覧会名／会期・会場
海辺	岡本太郎	1954	油彩	<p>「戦後デザイン運動の原点 デザインコミッティの人々とその軌跡」展 (当館企画展の巡回展) 令和4年4月9日～5月29日 香川県立ミュージアム</p>
建設	岡本太郎	1956	油彩	
赤	岡本太郎	1961	油彩	
跳ぶ	岡本太郎	1963	油彩	
マラソン	岡本太郎	1964	油彩	
サイコロ椅子 (2点)	岡本太郎	1957	椅子	
坐ることを拒否する椅子 (5点)	岡本太郎	1963	椅子	
月の壁	岡本太郎	1956年 /1991年 再制作	レリーフ	
日の壁(原寸大レプリカ・ 部分)	岡本太郎	1991	レリーフ	
東京オリンピック参加記 念メダル	岡本太郎	1964	レリーフ	
岡本太郎撮影写真(縄文土 器5点)	岡本太郎		写真	
現代芸術研究所関連資料 (12点)		1954頃～ 1956	資料	
岡本太郎スクラップブッ ク資料(1点)		1957	資料	
岡本太郎旧蔵資料(2点)		不詳	資料	
雑誌(2点)				
岡本太郎邸模型(1/50)		2017	資料	
清家邸「私の家」模型 (1/30)		2021	資料	
敗惨の歎き	岡本太郎	1925	ドローイ ング	<p>「展覧会岡本太郎」 令和4年7月23日～10月2日大阪中之島美術館 10月28日～12月28日東京都美術館 令和5年1月14日～3月14日愛知県美術館</p>
空間	岡本太郎	1934/54	油彩	
傷ましき腕	岡本太郎	1936/49	油彩	
夜	岡本太郎	1947	油彩	
まひるの顔	岡本太郎	1948	油彩	

作家	岡本太郎	1948	油彩	<p style="text-align: center;">「展覧会岡本太郎」</p> <p>令和4年7月23日～10月2日大阪中之島美術館                      10月28日～12月28日東京都美術館                      令和5年1月14日～3月14日愛知県美術館</p>
二人	岡本太郎	1948	油彩	
重工業	岡本太郎	1949	油彩	
黒い太陽	岡本太郎	1949	油彩	
森の掟	岡本太郎	1950	油彩	
駄々っ子	岡本太郎	1951	油彩	
クリマ	岡本太郎	1951	油彩	
樹人	岡本太郎	1951	油彩	
変身	岡本太郎	1953	油彩	
青空	岡本太郎	1954	油彩	
ドラマ	岡本太郎	1958	油彩	
若い闘争	岡本太郎	1962	油彩	
暴走	岡本太郎	1963	油彩	
マスク	岡本太郎	1959	油彩	
黒い生きもの	岡本太郎	1961	油彩	
赤	岡本太郎	1961	油彩	
装える戦士	岡本太郎	1962	油彩	
予感	岡本太郎	1963	油彩	
跳ぶ	岡本太郎	1963	油彩	
愛撫	岡本太郎	1964	油彩	
千手	岡本太郎	1965	油彩	
建設	岡本太郎	1956	油彩	
明日の神話	岡本太郎	1968	油彩	
未来を見た	岡本太郎	1971	油彩	
訣別	岡本太郎	1973	油彩	
悲しい動物	岡本太郎	1974	油彩	

双子座	岡本太郎	1974	油彩	<p>「展覧会岡本太郎」                      令和4年7月23日～10月2日大阪中之島美術館                      10月28日～12月28日東京都美術館                      令和5年1月14日～3月14日愛知県美術館</p>
面	岡本太郎	1975	油彩	
手の顔	岡本太郎	1978	油彩	
にらめっこ	岡本太郎	1978	油彩	
裂けた顔	岡本太郎	1980	油彩	
挑み	岡本太郎	1980	油彩	
眼の立像	岡本太郎	1981	油彩	
黒い顔	岡本太郎	1982	油彩	
愛憎	岡本太郎	1983	油彩	
遊魂	岡本太郎	1988	油彩	
疾走する眼	岡本太郎	1992	油彩	
顔	岡本太郎	1952	彫刻	
犬の植木鉢	岡本太郎	1955	彫刻	
午後の日	岡本太郎	1967	彫刻	
光る彫刻	岡本太郎	1967	彫刻	
若い夢 ※1	岡本太郎	1974	彫刻	
若い太陽の塔	岡本太郎	1969	彫刻	
星・花・人 ※2	岡本太郎	1971	彫刻	
樹霊Ⅱ	岡本太郎	1971	彫刻	
飛行船 レインボー号	岡本太郎	1973	彫刻	
女神像	岡本太郎	1979	彫刻	
河童像	岡本太郎	1981	彫刻	
手—赤	岡本太郎	1981	彫刻	
手—青	岡本太郎	1981	彫刻	
縄文人	岡本太郎	1982	彫刻	
こどもの樹	岡本太郎	1985	彫刻	

太陽の塔	岡本太郎	1970	彫刻	<p style="text-align: center;">「展覧会岡本太郎」                  令和4年7月23日～10月2日大阪中之島美術館                  10月28日～12月28日東京都美術館                  令和5年1月14日～3月14日愛知県美術館</p>
ノン	岡本太郎	1970	彫刻	
坐ることを拒否する椅子 (6点)	岡本太郎	1963	インダストリアル	
手の椅子	岡本太郎	1967	インダストリアル	
スツール	岡本太郎	1967	インダストリアル	
ひもの椅子	岡本太郎	1967	インダストリアル	
ほおずえ	岡本太郎	1968	インダストリアル	
駄々っ子	岡本太郎	1969	インダストリアル	
原色卓	岡本太郎	1967	インダストリアル	
顔の時計	岡本太郎	1967	インダストリアル	
光る時計	岡本太郎	1967	インダストリアル	
みつめあう愛	岡本太郎	1990	レリーフ	
マスク (3点)	岡本太郎	1970	レリーフ	
岡本太郎撮影写真(縄文土器、秋田、竹富島 計3点)	岡本太郎		写真	

※1 東京都美術館のみ

※2 愛知県美術館のみ

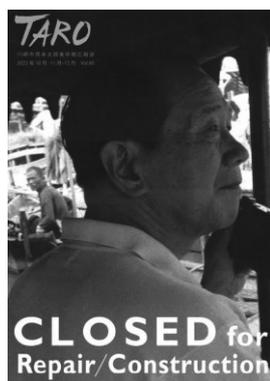
## 5. 情報・刊行物

### 刊行物

刊行物名	サイズ	内容	発行部数
川崎市岡本太郎美術館ニュース 「TARO」 MUSEUM NEWS Vol. 78、79、81	21×13.5 (cm) 三つ折	<ul style="list-style-type: none"> <li>企画展案内</li> <li>常設展案内</li> <li>イベント報告</li> <li>美術館カレンダー</li> <li>美術館利用案内</li> </ul>	15,000部 (各5,000部発行)
川崎市岡本太郎美術館ニュース 「TARO」 MUSEUM NEWS Vol. 80	29.7 × 21 (cm) 四つ折	<ul style="list-style-type: none"> <li>イベント案内</li> <li>次回企画展案内</li> <li>巡回展案内</li> <li>美術館利用案内</li> </ul>	5,000部
2021-2023 川崎市岡本太郎美術館 教育普及記録集	A5版	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育普及事業の記録</li> </ul>	300部
令和3年度 川崎市岡本太郎美術館年報  当館ホームページにて、PDF版の閲覧が可能 <a href="https://www.taromuseum.jp/report.html">https://www.taromuseum.jp/report.html</a>	A4版	<ul style="list-style-type: none"> <li>事業報告 (企画展、常設展、共催・協力企画展、収集・保存・貸出、情報・刊行物、教育・普及事業、美術館協議会、資料収集・評価委員会)</li> <li>資料 (入館者数統計、美術館事業予算・決算概要)</li> <li>組織名簿</li> <li>美術館概要</li> <li>美術館条例・規則</li> </ul>	300部



美術館ニュース「TARO」 Vol. 78、79、81



美術館ニュース「TARO」 Vol. 80



2021-2023  
川崎市岡本太郎美術館  
教育普及記録集



令和3年度  
川崎市岡本太郎美術館年報

## 6. 教育・普及事業 イベント・ワークショップ

### ・TARO 鯉にいどむ！ in ラゾーナ川崎プラザ

日 時	2022年3月26日(土) ①10:00～11:30 ②12:30～14:00 ③15:00～16:30
作品展示日程	2022年4月23日(土)～5月5日(木祝)
内 容	恒例となった出張ワークショップ「TARO 鯉に挑む！」を川崎駅に隣接しているラゾーナ川崎プラザ5階の野外スペースで行いました。太郎鯉や子ども達のつくったカラフルな鯉のぼりに誘われて、親子で楽しく制作する様子が見受けられました。普段、美術館に行く機会が少ない方達にも、岡本太郎美術館に興味をもつきっかけになっていました。
場 所	ラゾーナ川崎プラザ 5階 野外スペース
料 金	無料
参加人数	①18名 ②18名 ③18名(当日受付)



### ・TARO 鯉にいどむ！ 2022

日 時	2022年4月23日(土)、24日(日) 各日①10:00～12:00 ②13:30～15:30
作品展示日程	2022年5月1日(日)～5月5日(木祝)
内 容	今年で11回目になる恒例イベント。常設展の作品をはじめ、屋外に展示している《TARO 鯉》を鑑賞し、アトリエでオリジナルの鯉のぼりを制作し、母の塔広場に展示しています。昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として各回の定員を10組として行いました。ただ、今年は午前・午後の各2回開催とし、昨年度より2倍多い参加者に制作してもらうことができました。人との距離も十分にとれ、参加者は安心した様子でした。ゴールデンウィーク期間中の広場での展示は、これまでの鯉のぼりを含め、100尾が泳ぎ、生田緑地を訪れる人を楽しませていました。
場 所	創作アトリエ、常設展示室、ギャラリースペース、母の塔前広場
料 金	無料(要観覧料)
参加人数	23日:①10組(子ども9名、大人8名) ②10組(子ども8名、大人11名) 24日:①10組(子ども8名、大人8名) ②10組(子ども12名、大人10名)



(先着順/電話受付)

### ・描いて送ろう！ こどもの樹

応募期間	2022年5月20日(水)～4月30日(土)
内 容	こどもの日関連イベント“みんなでつくろう！こどもの樹”で制作する《こどもの樹》の塗り絵を、オンラインで公開し、お家で塗り絵をして美術館に郵送で送っていただき、みんなでつくる“こどもの樹”に参加していただきました。初めての試みとなりましたが、遠方からの参加もあり、美術館に来館できなくても、作品を身近に感じる機会を提供できる機会となりました。
参加人数	13通 19名

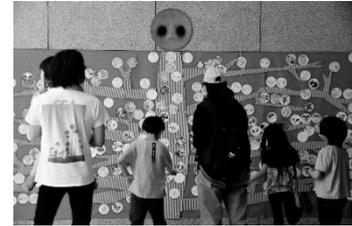


## ・みんなでつくろう！こどもの樹

日 時 2022年5月3日(土)～5月5日(木) ①10:30～11:30 ②13:00～16:00

作品展示日程 2022年5月1日(土)～5月15日(日)

内 容 《こどもの樹》には、個性豊かな皆違う顔が並びます。今年で3回目となる、《こどもの樹》の顔で作った塗り絵と自由に描けるイベントです。丸い紙を用意し、みんなで自由に顔を描いて『こどもの樹』を作りました。ゴールデンウィーク中の小さい子ども連れのご家族や大人の方にも楽しんでいただきました。多くの方にご参加いただき、賑やかなイベントとなりました。



場 所 ギャラリースペース

料 金 無料

参加人数 1日目：大人77名 子ども75名 2日目：大人90名 子ども71名 3日目：大人68名 子ども53名  
合計：437名(当日受付)

## ・ガイドブック配布「ひらく・そうぞう展」

日 時 2022年7月23日(土)～8月17日(水) 9:30～17:00

内 容 常設展会期中、ドローイングや油絵、FRP彫刻の技法や素材について、まとめた子ども向けガイドブックを配布しました。ページを開くと、ドローイングから完成作品が出来るまでの流れを感じることができます。また、内巻き四つ折りの冊子なので、ドローイングと完成作品が見比べやすくなっています。冊子を持って作品鑑賞する子どもが多く見受けられました。



場 所 常設展示室入口横

料 金 無料

配布枚数 2940枚

## ・中学生「夏休みの宿題手伝います」ツアー

日 時 2022年①7月27日(水) ②8月10日(水) ③8月18日(木) 10:00～11:00

内 容 今年で5年目となる中学生向けの美術館見学ツアーです。中学校では夏休みの課題として美術館に行って感想を書いたり、新聞を作ったりする学校が多く美術館スタッフによるツアーを行うようになりました。今年度は、美術館の役割にも触れ、作品だけでなく美術館自体にも興味・関心向けることができるようなワークシートを作成しました。友達や家族と一緒に参加し、作品の話をしながら鑑賞したり、一人で真剣に作品を鑑賞したりする様子が見られました。



場 所 常設展示室、企画展示室

講 師 普及企画

対 象 中学生

料 金 無料

参加人数 ①19名(中学生9名、付添10名) ②22名(中学生10名、付添12名)  
③4名(中学生2名、付添2名)(先着順/電話受付)

### ・“太郎ブラック”を知ろう作ろう！

日 時 2022年7月30日(土) 13:30~16:00

内 容 岡本太郎の作品や制作に深く迫るため、平面作品で多く使用した素材の油絵具に焦点をあてたワークショップを行いました。作品を鑑賞し、太郎さんが使っていた黒色の油絵具(アイボリーブラック)を実際に作りました。

場 所 常設展示室、創作アトリエ

講 師 岩崎友敬(株式会社クサカベ 技術開発部)

料 金 1200円+観覧料

対 象 小学4年生以上~大人

参加人数 10名(子ども1名、大人9名)(先着順/電話受付)



### ・油絵具でドローイングを描こう！

日 時 2022年8月7日(日) 13:30~15:30

内 容 岡本太郎の絵画作品の多くは、油絵具を使用しています。あまり馴染みのない油絵具を使って描くことで、岡本太郎の制作への理解につなげることを目的とし、「岡本太郎の調色台スケッチ」を参考に、岡本太郎が使用していた絵具の色を選び、思い思いにドローイングをしました。参加者は、油絵具の匂いや質感に驚きながらも、深い色合いを楽しんでいました。

場 所 常設展示室、創作アトリエ

料 金 1200円+観覧料

対 象 小学生以上~大人

参加人数 21名(子ども11名、大人10名)(先着順/電話受付)



### ・美術館裏探検

日 時 2022年8月11日(木祝) ①11:00~11:40 ②13:30~14:10

内 容 普段見ることの出来ないバックヤードの一部を公開する子ども限定のイベントです。第一収蔵庫、第二収蔵庫、大型エレベーター・搬入口・キャットウォークなどを探検しながら、美術館がどのように作品を保管し展示しているのかについて話しました。普段は入れない場所にキョロキョロ、ワクワクしている子ども達の様子が見られました。

場 所 展示室、バックヤード

対 象 小・中学生

料 金 無料

参加人数 ①10名 ②9名 (先着順/電話受付)



### ・TARO Birthday Concert

- 日 時 2023年2月26日(日) 14:00~4:45
- 内 容 岡本太郎は1911年2月26日生まれです。112歳の誕生日を祝うバースデーコンサートを開催しました。来館者の方に、打楽器奏者の上原なな江さんによる素敵な演奏をお楽しみいただきました。
- 場 所 ギャラリースペース
- 演 奏 上原 なな江 (打楽器奏者)
- 共 演 田中 拓也 (サクソフォン)、石原 加奈子(ピアノ)
- 対 象 どなたでも
- 料 金 無料(椅子席は要観覧券)
- 参加人数 椅子席40席(先着順/電話受付)、立ち見59名



### ・はいはい&よちよち美術館ツアー

- 日 時 2022年①4月13日(水) ②5月18日(水) ③6月8日(水)  
2023年④2月8日(水) ⑤3月8日(水) 10:30~11:30
- 内 容 親子で一緒に鑑賞を楽しむことで、親子のコミュニケーションを図ったり、小さな子でも無理なく美術館の雰囲気味わってもらったりすることができる鑑賞会です。
- 場 所 ガイダンスホール~常設展示室
- 対 象 3か月~3才の幼児とご家族
- 料 金 要観覧料
- 参加人数 ①2組(子ども2名、大人4名)(先着順/電話受付)  
②5組(子ども7名、大人7名) 〃  
③5組(子ども5名、大人6名) 〃  
④5組(子ども5名、大人6名) 〃  
⑤5組(子ども5名、大人6名) 〃



## 休館中イベント

### ・十五夜フェスタ

#### “マスカレード風” 太陽の塔の仮面をつくろう

日 時 2022年9月10日(土) 11:00~16:00

内 容 生田緑地内イベント「十五夜フェスタ」に合わせて開催した野外ワークショップです。紙皿を使って、《太陽の塔》の3つの顔（黄金の顔、太陽の顔、黒い太陽）のどれか一つを制作しました。未就学児を連れた家族連れが多く、親子で協力して穴をあけたり、紙を切ったりしていました。

場 所 生田緑地中央広場客車前

対 象 どなたでも

料 金 200円

参加人数 88名（子ども85名、大人3名）（当日受付）



### ・KITEN in TARO museum WS

日 時 2022年①10月22日(土) 10:00~13:00、②10月23日(日) 13:00~16:00

内 容 舞踏家・加藤みや子氏と美術家・金沢健一氏によるダンス公演「KITEN in TARO museum」の世界に触れながら、加藤みや子ダンススペースのダンサーと一緒に体を動かし金沢健一の音の作品を体験するワークショップです。参加者は、大きな音の響きを体感し、それに合わせた体を動かすことを楽しみました。

場 所 企画展示室

講 師 加藤みや子（舞踏家）、金沢健一（美術家）、加藤みや子ダンススペースダンサー

対 象 ①小学校6年生まで（未就学児は親子で参加）②中学生以上

料 金 ①小学生以下無料（親子で参加の場合は1組1,000円）

②大人1,000円、中・高・大学生500円

参加人数 ①22名（親子参加11組） ②6名（大人5名、大学生1名）（先着順/電話受付）



### ・KITEN in TARO museum

日 時 2022年11月3日(木祝) ①11:00~12:30 ②14:30~16:00

内 容 舞踏家・加藤みや子氏と美術家・金沢健一氏によるコラボレーション作品  
「帰点」の第3弾として行うダンスパフォーマンス企画です。観客は、金沢氏が響かせる音やマリオネット作品とダンサーたちの繰り広げるパフォーマンスとの共演を楽しみました。

※本公演を含むKITENの計3回の公演が、「第53回舞踊批評家協会賞」(舞踊批評家協会)を受賞しました。



場 所 企画展示室

出 演 演出・構成・総合振付：加藤みや子

美術・音：金沢健一

出演・振付：加藤みや子

西名糸江、立花あさみ、江藤優里亜、上村有紀、中村泉輝、杉山佳乃子、高宮梢、鈴木梨音、木原浩太(以上、加藤みや子ダンススペース)

高橋郁、ノセミチコ、原田紗也、浦島優奈、高桑奈津希、長谷川暢

ワークショップ参加出演メンバー：荒木加奈、荒木結心、清田悠渡、竹内響、豊島愛菜

誘導役：大岩尚子、佐藤真理子

対 象 どなたでも

料 金 大人1,000円、中・高・大学生500円、小学生以下 無料

参加人数 ① 100名(大人53名、高・大学生7名、中学生以下23名、招待28名)

② 57名(大人40名、高・大学生4名、中学生以下2名、招待11名) (先着順/電話受付)

### ・TARO 作品にふれて・洗って・楽しもう

日 時 2022年11月5日(土) 13:00~16:00

内 容 屋外に設置されている彫刻《樹霊I》と《女》を洗浄するプログラムです。触りながら作品を鑑賞し、洗浄することで、視覚のみの鑑賞とは一味違った作品とのふれあいを楽しみました。

場 所 ガイダンスホール、美術館屋外

講 師 黒川弘毅(彫刻家、武蔵野美術大学教授、有限会社ブロンズスタジオ)

対 象 どなたでも ※小学校3年生以下は要保護者同伴

料 金 無料

参加人数 12名(先着順/電話受付)



### ・ミニチュア・坐ることを拒否する椅子

日 時 2022年11月13日(日) 10:00~11:30  
内 容 どこでも TARO アトリエ第5弾に掲載されている「ミニチュア坐ることを拒否する椅子」のワークショップを企画展示室で行いました。紙粘土をこね、思い思いの作品作りを楽しみました。  
場 所 企画展示室  
対 象 どなたでも \*小学3年生以下は要保護者同伴  
料 金 500円  
参加人数 38名(子ども19名、大人19名)(先着順/電話受付)



### ・青空 TARO アトリエ 描こう!“太陽・風・植物・動物”

日 時 2022年11月13日(日) 13:30~15:30  
内 容 美術館を飛び出し、自然豊かな生田緑地を散策しながら描くイベント。太郎さんの作品をパネルで紹介しながら、作品テーマの“太陽”“風”や、館外に設置されている《樹霊I》《母の塔》を描きました。  
場 所 創作アトリエ、美術館周辺  
対 象 どなたでも \*小学3年生以下は要保護者同伴  
料 金 300円  
参加人数 22名(子ども10名、大人12名)(先着順/電話受付)



### ・専修大学インターン生によるイベント

#### あつめよう自然 つくろう太郎 ~げい樹つは ばく葉つだ!~

日 時 2022年11月20日(日) ①10:30~12:00 ②13:30~15:00  
内 容 子ども達に岡本太郎を知ってもらうこと、野外に出て自然と触れ合ってもらふことを目的として、集めた葉や枝を使って、太郎さんの《マスク》などの顔や、《太陽の塔》を作りました。自然の形や色を楽しみながら素材を試行錯誤して、独自の表現を楽しむ子ども達の発想力に驚かされました。  
場 所 創作アトリエ  
対 象 小学生以上 \*未就学児は要保護者同伴  
料 金 無料  
参加人数 ①18名(子ども10名、大人8名) ②23名(子ども13名、大人10名)(先着順/フォーム申込)



### ・美術館で描こう！

日 時 2022年11月27日(日) ①10:30～12:00 ②14:00～15:30

内 容 第24回岡本太郎現代芸術賞に入選された園部恵永子さんを講師に迎え、描きたいままに描けない筆・グングニルを使って、岡本太郎の代表作をもとに絵を描くワークショップです。はじめに、グングニルの“思い通りに描けないように負荷がかかる仕掛け”を作ります。そして、不安定な紙に絵を描いた後、企画展示室に展示し、鑑賞会を行いました。今回のワークショップでは、家族で協力して筆をつくり、絵を完成させました。



場 所 企画展示室

講 師 園部恵永子(第24回岡本太郎現代芸術賞入選作家・美術作家)

対 象 3歳から小学生までの子どもとその保護者

料 金 500円

参加人数 ①23名(子ども10名、大人13名) ②27名(子ども12名、大人15名)(先着順/電話受付)

### ・じゅえき太郎さんと、オリジナル昆虫を描こう！

日 時 2022年12月4日(日) ①10:30～12:00 ②14:00～15:30

内 容 第16回岡本太郎現代芸術賞に入選され、イラストレーターとしても活躍されているじゅえき太郎さんを講師に迎え、オリジナルの昆虫を描くワークショップを行いました。参加者は、じゅえき太郎さんの幼少期のお話やイラストレーターの仕事のお話など興味深そうに聞き、オリジナル昆虫のプロフィールを考え、自由な虫を想像し描きました。最後には、プロジェクターで投影した、じゅえき太郎さんの画像に参加者のオリジナル昆虫を展示しコラボレーションしました。



場 所 企画展示室

講 師 じゅえき太郎(第16回岡本太郎現代芸術賞入選作家・イラストレーター)

対 象 小学校3年生～大人

料 金 500円

参加人数 ①35名(子ども20名、大人15名) ②42名(子ども17名、大人25名)(先着順/電話受付)

## どこでも TARO アトリエ

「どこでも TARO アトリエ」は、コロナ禍の2020年4月に発表された緊急事態宣言下で、多くの方が自宅で過ごされている時期に、美術館へ行けなくても、自宅で太郎さんの作品を楽しんでもらえるようにはじめたコンテンツです。これまで好評だったワークショップなどから、大人でも子どもでも、気軽に楽しめるアイデアをご紹介します。緊急事態宣言の解除後も、遠方にお住まいの方は、ご来館しにくいことにならないため、「どこでも TARO アトリエ」を更新しました。

### 第24弾 どこでも TARO トランプ

1977年、岡本太郎はトランプをデザインし発表しています。太郎さんがデザインした絵札を公開し、マグネットシートやのり付きパネル、紙袋にトランプの絵を描き作成したものを紹介しました。



### 第25弾 “マスカレード風” 月の顔の仮面をつくろう

常設展「岡本太郎とにらめっこ」にあわせて、展示中の彫刻作品《月の顔》をモチーフにした“持ち手付きの仮面”の作り方を公開しました。

また、コンテンツ配信に伴い、2023年3月25日（土）～4月5日（水）までどこでも TARO アトリエ特別企画「“マスカレード風” 月の顔の仮面をつくって・もって・来館しよう」を開催しました。作品を自宅で制作し、期間中、美術館に持参すると特製シール（一人1枚）をプレゼントするという内容でした。（参加者数：計66名）



### 第26弾 TARO 切り絵Ⅱ

TARO 切り絵の第2弾として、太郎さんの絵画作品《夜》《犬》の切り絵作品を紹介しました。



## 団体利用実績

学校団体の受け入れは、令和2年度から人数を絞った形で行っています。実際に訪れた児童・生徒・幼児には、検温・消毒・マスクの着用、また、大声で感想を述べあうことがないようにお願いしています。館内で密集することがないように対策を行いながら時間を短縮して案内をしました。

具体的には、令和2・3年度より10人増やし、1回80人以下の児童たちを更に2～3グループに分け、時間差をつけて回るようにしています。また、館外でのガイダンスを長めにとり、館内についてはワークシート等を利用し30分、館外館内合わせて45分ほどで鑑賞を行いました。中学生以上は自由見学のところが多く、その場合も常設展示室から入るグループ、企画展示室から入るグループというように分け、密集しないように案内を行っています。

また、美術館は工事の関係で9月から1月の5か月間休館をしたため、その間は学校団体の受け入れはなく、出張授業を小学校4校、中学校2校行いました。

## 令和4年度学校受入数

月	小学校		中学校		高校・大学		特別支援学校・ 身障者施設等		幼稚園・ 保育園		その他		合計	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
4月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	82	3	82
5月	1	190	0	0	2	25	0	0	1	29	4	448	8	692
6月	6	704	1	6	0	0	1	21	2	132	2	26	12	889
7月	1	105	3	90	1	17	0	0	1	21	2	30	8	263
8月	1	171	2	27	0	0	0	0	0	0	5	67	8	265
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	88	1	88
10月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4	151	4	151
12月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	77	1	77
1月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
2月	10	1060	1	28	0	0	2	25	1	22	2	21	16	1156
3月	3	308	1	21	1	7	0	0	1	18	3	39	9	393
合計	22	2538	8	172	4	49	3	46	6	222	27	1029	70	4056

※9月～1月まで、「母の塔」前広場等防水工事のため休館

## 学校プログラム

### <職場体験・インターンシッププログラム>

内 容 体験を通して美術館で働く人達と接し、施設の目的や内容を広く学んでもらうための活動。学芸員の仕事、施設管理の仕事、ミュージアムショップの仕事、看視・受付の仕事の中から日程に合わせて選択し、各1時間程度体験しています。今年度は、まだコロナの影響もあり、学校外での活動が制限されていたため、受入れはありませんでした。



今年度受入校数 高校0校、中学0校

### <出張授業・鑑賞授業>

内 容 美術館から遠い、校外活動は時間がかかる等、様々な理由で来館できない学校を主な対象として、出張授業を行っています。今年度は工事に伴う休館のため、近隣の学校でも行いました。美術館職員が学校を訪問し、教材を持ち込んで鑑賞活動を進めています。



今年度出張実施校数 6校

- 9月14日(水) 稲城第3小学校 3年
- 10月22日(土) 川中島中学校 希望者
- 10月28日(金) 南菅小学校 4年
- 11月19日(土) 下作延小学校 3年
- 12月8日(木) 中原小学校 4年
- 2月1日(水) 平沼保育園



### <出張授業・職業講話>

内 容 昨年に引き続きコロナの影響で体験が出来なかった学校に、代わりとして学校に出向き職業講話を行っています。美術館施設の目的や内容を広く学んでもらうために、美術館で働く人達の、それぞれの仕事内容について映像を通してお話しています。

今年度出張実績校数 1校

- 1月25日(水) はるひ野中学校 2年



## < 学校・地域連携事業 >

### ○小学校図画工作科研究会実技研修会

川崎市小学校図画工作科研究会では、夏季実技研修会が行われました。鑑賞部会では岡本太郎美術館のホームページにある「どこでも TARO アトリエ」に掲載している内容を2つ、午前・午後に行いました。美術館職員も説明やカードゲームなどを通して美術館の普及に努めました。



### ○社会体験研修

7月27日(水)、8月3日(水)、8月24日(水)の3日間、県立高津養護学校、県立相原高校、品川区立芳水小学校の各先生が社会体験研修で岡本太郎美術館にられました。普及イベントの手伝いや、「受付看視」「広報」「施設管理」からのレクチャー、ワークショップの準備など、日頃とは違う仕事を体験していただきました。



### ○白鳥中学校放送委員会による映像制作

白鳥中学がNHK杯全国中学校放送コンテストにテレビ番組作品を応募しました。その中で、岡本太郎美術館についても「母の塔」を中心としたインタビューを受けました。その作品が川崎市の代表選考会を通過し、全国大会の予選会に進みました。岡本太郎美術館として、テレビ映像作品の制作に協力しました。



## 教材開発と利用

### <映像資料>

#### 「岡本太郎の芸術」

時間：20分

内容： 岡本太郎の生い立ち、絵画、彫刻、デザイン、著作フィールドワークなど様々な活動の記録を分かりやすく解説しています。

\*テロップ入りの聴覚障害者向けビデオあり（内容は同じ）



#### 「マナーDVD」

内容： 小学生以下の子ども向けにつくった美術館でのマナーを簡単にまとめました。



### <作品プリント>

#### 「代表作品」



【パウチ加工 36 作品 42.5×30.0】

内容

絵画作品：《傷ましき腕》《夜》《森の掟》他 全 14 作品

立体作品：《誇り》《若い時計台》《太陽の塔》他 全 19 作品

レリーフ：《天に舞う》全 1 作品

写 真：《縄文土器》他 全 2 作品

\*個々の作品についての解説書付き

#### 「遊ぶ字」



【パウチ加工 40 作品 42.5×30.0】

内容

《夢》《遊》《笑》《楽》《晴》《歌》

《喜》《音》《若》《海》他 全 40 作品

#### 「《太陽の塔》／《明日の神話》授業セット」制作

制作の様子がわかる岡本太郎のプライベート写真や作品と関連のある作品画像をまとめて、《太陽の塔》《明日の神話》についての授業をするためのセットを新たに開発しました。

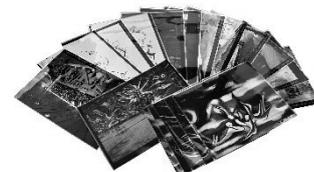


【パウチ加工 36 作品 42.5×30.0】

内容

《太陽の塔》正面・背面

《ノン》《戦士》《マスク》他 全 20 作品



【パウチ加工 40 作品 42.5×30.0】

内容

《明日の神話》、《燃える人》ドローイング、

制作風景写真 他 全 20 画像

## <大型作品プリント>

【巻いて筒状 約B倍(1030cm×1456cm)】



内容：《傷ましき腕》《重工業》《森の掟》《夜》《空間》全5作品

## <作品カード(アートカード)>

美術館見学の事前授業で使用するなど、年間70件近くの利用があり、前回のリニューアルより5年経過したため、破損や衛生面を考慮し、使用者が気持ちよく使えるようにケースを新しくしました。

内容

絵画作品：《傷ましき腕》《夜》《森の掟》他 全7作品

立体作品：《誇り》《若い時計台》《太陽の塔》他 全10作品

版画：《眼》《夢》全2作品レリーフ：《マスク》全1作品

インダストリアル：《顔のグラス》他 全3作品



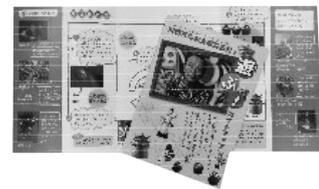
【パウチ加工 24作品 12.0×18.0】

## <子ども向け自由鑑賞ワークシート>

学校団体向けの鑑賞コースに平成30年度よりワークシートを活用したコースを加え、目的に合わせた各種ワークシートを展示内容に合わせて普及企画スタッフで作成しています。美術館での学習だけでなく、学校授業でも使用していただけます。

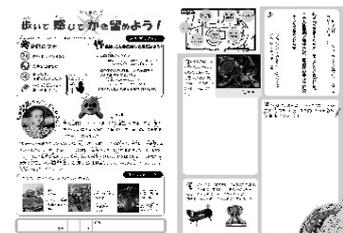
・“遊ぶ！”ガイドマップ

主な作品のカラー画像があります。



・歩いて 感じて 書き留めるマップ

鑑賞のきっかけになる質問やメモスペースが多くある内容となっています。各展覧会に合わせた内容で作成しています。



## 美術館教育研究会

日 時 2023年3月2日(木) 15:00～16:30

場 所 創作アトリエ

- 議 題
- (1) 令和4年度の普及事業報告
    - 学校対応事業
    - 学校・地域連携事業
    - イベント・ワークショップ事業
  - (2) 令和5年度の教育普及事業予定
    - 学校団体利用について
      - ・学校団体鑑賞プログラムの内容
      - ・鑑賞ワークシートの活用
      - ・貸し出し教材
    - 展覧会、イベント予定
  - (3) その他



出席者 小・中学校：澁谷加寿子（南原小学校校長）、丸尾明彦（古川小学校校長）、藤井敬三（宿河原小学校教諭）、大高修（平小学校教諭）、北潟美波（枳形中学校教諭）、坂井祐子（稲田中学校教諭）  
川崎市市民ミュージアム：杉浦央子  
美術館：土方明司（館長）、佐々木智子（副館長）、佐藤玲子（課長補佐）、那須川慧（職員）、尾崎美幸（職員）、千村曜子（職員）、鈴木亜優（職員）

## 協力イベント

### <音あそび♪かわさきジャズ@岡本太郎美術館>

「かわさきジャズ2022」とのコラボレーション企画として、休館中の企画展示室を利用しワークショップ・ジャズライブが開催されました。

#### ・ワークショップ

##### 第1部 音あそび♪「フリーセッションチャレンジ」

日 時	2022年10月15日(土) ①10:00~10:30 ②10:30~11:00
内 容	「音楽のまち・かわさき」推進協会の方を講師とし紙皿・小豆・チラシ等を使い、手作りタンバリンを制作しました。その後、作成したタンバリンを持ってジャズライブに参加しました。
場 所	企画展示室
対 象	中学生以下
料 金	無料
参加人数	55名(うち同伴30名)(先着順/電話受付)



ポスター

##### 第2部・第3部 音あそび♪「エンジョイ! JAZZ ドラム体験」

日 時	2022年10月15日(土) 第2部 13:00~14:00 第3部 14:00~15:00
内 容	講師に川崎ドラム教習所を迎え、JAZZの生バンドに合わせて、電子ドラムを叩く体験をしました。また、JAZZライブとしても楽しんでいただけるよう、川崎ドラム教習所の演奏も披露されました。
場 所	企画展示室
対 象	第2部 中学生以下 第3部 小学生・中学生
料 金	無料
参加人数	第2部 23名(うち同伴14名) 第3部 20名(うち同伴8名)(先着順/電話受付)
観 覧 者	第2部 40名 第3部 28名(当日受付)



川崎ドラム教習所

#### ・JAZZ ライブ

日 時	2022年10月15日(土) 11:00~11:40
内 容	ジャズの生演奏とジャグリングパフォーマンスを鑑賞しました。また、第1部のワークショップに参加した子どもたちは、手作りした楽器をもって、パフォーマンスに参加しました。
出 演	MKG Band
場 所	企画展示室
料 金	無料
観 覧 者	71名(第1部参加者含む)(当日受付)



MKG Band  
坂口勝(Per)、千葉香織(Key)かわさきジャズ  
2022BRIDGEアーティスト、岩永源内(Gt)

## 7. 施設・設備の整備

### 施設・設備の整備

#### ・「母の塔」前広場等防水工事

工 期 2022年7月～2023年2月

(休館2022年9月1日～2023年1月31日)

内 容 外気温及び湧水・雨水等の影響により、「母の塔」前広場で発生していた路面の盛り上がりやタイルの欠損を改修し、来館者が安全に通行できるよう整備するとともに、展示室の一部屋根部分でもある広場の防水工事を実施しました。

#### ・バリアフリー対応工事

工 期 2023年2月～2023年3月

内 容 屋外エレベータアプローチのスロープについて、勾配がバリアフリー対応基準を超えていたため、手摺の設置を行いました。また、美術館エントランスから「母の塔」前広場に続く大階段について、各段の段鼻に赤の着色を行い、歩行者が段を容易に識別できるよう工事を実施しました。

#### ・館内サイン等リニューアル

工 期 2022年10月～2023年3月

内 容 館内外に設置している老朽化した各種サインや案内について、前年度立案したデザイン計画（フジワラテッペイアーキテクツラボ、日本デザインセンター 色部デザイン研究所）に基づいて、休館期間中に統一したデザインに更新しました。



#### ・常設展示 壁面整備

工 期 2022年10月～2023年1月

内 容 岡本作品にあわせて設計された常設展示室等の壁面について、再塗装等を行いました。開館当初からの展示空間の意匠と質を維持するため、壁面の色については調色に十分配慮して実施しました。

#### ・館内メンテナンス

工 期 2022年9月～2023年1月

内 容 長期休館中に、壁や床の欠損、ひび割れ、経年による劣化等を部分補修やクリーニングを行い、岡本太郎作品の展示にふさわしい空間に再整備しました。また、コロナ禍のもと展示室の床に貼付したソーシャルディスタンスシールのクリーニングについては、受付看視スタッフと共同で作業を実施しました。

## 8. 指定管理者による自主事業

### ■ イベント・ワークショップ ■

#### <花ひらく ジャンボフラワーをつくろう！>

- 日 時 2022年5月1日(日) ①10:30~16:00 ※4回開催
- 内 容 前年度末に開催した生田緑地スプリングミュージアム内で出店した大きなペーパークラフトの花を作る教室を美術館のイベントとして開催しました。思い思いに花びらの色と形を選んで作る大きな花を完成させると、参加の方は嬉しそうに緑地で記念撮影を楽しんでいました。
- 場 所 創作アトリエ
- 対 象 どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)
- 講 師 山内夏美(日比谷花壇)
- 料 金 400円(入館外イベント)
- 参加人数 74名(うち同伴38名)(当日受付)



#### <美術館でフラワーレッスン Vol.17「モーヴカラーの母の日アレンジ」>

- 日 時 2022年5月7日(土) ①10:30~12:00 ②13:30~15:00
- 内 容 需要の多い母の日をテーマにしたフラワーアレンジメントに、障害者の方や85歳の男性、家族など幅広い層の方が参加し楽しんでいました。
- 場 所 創作アトリエ
- 対 象 どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)
- 講 師 重田章子(日比谷花壇認定講師)
- 料 金 2,500円(入館外イベント)
- 参加人数 ①18名(うち同伴3名) ②17名(うち同伴2名)(先着順/電話受付)



### <かわいいコケ玉をつくろう！>

日 時	2022年6月11日(土) ①10:30~11:30 ②14:30~15:30
内 容	毎年好評のコケ玉教室を今回も「母の塔」下で開催しました。まだコロナ感染の不安が残る中で屋外の自然の中で子供とのびのび創作ができる機会のニーズは高く、参加者はほとんどが親子連れでした。今回も屋上の苔管理者に参加・説明を頂きました。
場 所	「母の塔」下
対 象	どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)
講 師	小山裕行(日比谷花壇)
料 金	1,600円
参加人数	①26名(うち同伴10名) ②30名(うち同伴9名) (先着順/電話受付)



### <ゆらゆら金魚ちゃんワークショップ>

日 時	2022年7月23日(土) 14:00~20:15
内 容	2年ぶりに開催の「民家園通り夏祭り」に緑地内各施設から出店するにあたり、小松美羽展の宣伝を兼ねて紙細工の金魚を作るワークショップを開催しました。
場 所	民家園通り 大踏切付近テント特設
対 象	どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)
講 師	山内夏美、加藤晴暉、根岸千沙(日比谷花壇)
料 金	200円
参加人数	107名(同伴除く)(当日受付)



### <お花やさんの素材でつくるラージコスモス>

日 時	2022年10月1日(土) 11:00~15:00
内 容	5か月間の工事休館中も施設利用を継続発生させるため、好評のペーパークラフト教室を開催し、季節柄大きなコスモスを「母の塔」下で作りました。秋の気持ちの良い屋外で、参加者は作りあげた大きな花に満足そうでした。
場 所	「母の塔」下
対 象	どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)
講 師	山内夏美(日比谷花壇)、看視職員
料 金	400円
参加人数	44名(うち同伴25名)(当日受付)



### <かわいいコケ玉をつくろう！2022 秋>

- 日 時 2022年10月8日(土) ①10:30~11:30 ②14:30~15:30
- 内 容 工事休館中の施設利用促進の一環で、毎年春に好評開催のコケ玉教室を秋にも開催しました。参加者は今回も大変楽しそうにコケ玉作りを満喫され、屋上のコケ管理者の話にも非常に興味深く耳を傾けていました。
- 場 所 「母の塔」下
- 対 象 どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)
- 講 師 小山裕行(日比谷花壇)
- 料 金 1,600円
- 参加人数 ①17名(うち同伴5名) ②20名(うち同伴8名)(先着順/電話受付)



### <カフェ前ミニコンサート>

- 日 時 2022年 ①10月22日(土) ②11月13日(日) ③11月27日(日)  
各日 12:40~13:40
- 内 容 工事休館中、施設利用促進のため土日祝日に営業していたミュージアムショップ及びカフェテリア TARO の集客支援のため、コロナ禍以前に不定期開催していたカフェ前のミニコンサートを再開しました。地元で活躍し、生田緑地を歌った曲も持つシンガーソングライターの亜美さんの澄んだ歌声に多くの方が集まり、演奏を楽しんでいました。
- 場 所 カフェテリア TARO 前広場
- 出 演 亜美(シンガーソングライター)
- 料 金 無料
- 参加人数 ①90名 ②65名 ③113名



### <美術館でフラワーレッスン Vol.18 「美しき秋の訪れ～秋色コラージュ」>

- 日 時 2022年10月29日(土) ①10:30~12:00 ②13:30~15:00
- 内 容 工事休館中ですが、リピーターが多く年間スケジュールも定着しているアレンジ教室を、秋をテーマに開催しました。完成品も通常と違いフレーム(額)型の器に配置するもので、秋らしい絵画的な作品が完成しました。
- 場 所 ガイダンスホール
- 対 象 どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)
- 講 師 重田章子(日比谷花壇認定講師)
- 料 金 2,500円
- 参加人数 ①7名(うち同伴2名) ②8名(先着順/電話受付)



### <美術館でフラワーレッスン Vol.19「星降る聖夜のハーブリースアレンジ」>

日 時 2022年11月12日(土) ①10:30~12:00 ②13:30~15:00

内 容 今年もクリスマスに要望の多い生の素材を使ったリース教室を開催しました。難易度が高く、参加者は切り分けた生のヒバをきつくリースベースに巻いていく作業に奮闘し、完成した後の満足感の大きさに喜びで盛り上がっていました。

場 所 創作アトリエ

対 象 どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)

講 師 重田章子(日比谷花壇認定講師)

料 金 2,500円(入館外イベント)

参加人数 ①20名(うち同伴4名) ②19名(うち同伴5名)(先着順/電話受付)



### <花くじらさんをつくろう!>

日 時 2022年11月13日(日) 11:00~15:00

内 容 専修大学生の授業プログラム課題として西口広場で開催した地域通貨「たま」振興イベントに、指定管理者の自主事業として好評のくじらのペーパークラフト教室を協力開催しました。

場 所 西口広場 専修大学リーダーシップ開発プログラム受講生主催「たま楽市」会場特設

対 象 どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)

講 師 山内夏美(日比谷花壇)

料 金 300円

参加人数 124名(うち同伴69名)(当日受付)



### <美術館でフラワーレッスン Vol.20「扇の舞~艶やかな扇アレンジ」>

日 時 2022年12月10日(土) ①10:30~12:00 ②13:30~15:00

内 容 アレンジ教室では年間でも人気が高い新春テーマのアレンジメントを作りました。縁起の良い扇型の木製プレートでスポンジを挟み、隙間に花をあしらっていく手順で、意欲のあるお子さんは保護者の手伝いを断って熱心に制作に打ち込まれていました。

場 所 創作アトリエ

対 象 どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)

講 師 重田章子(日比谷花壇認定講師)

料 金 2,500円(入館外イベント)

参加人数 ①17名(うち同伴2名) ②19名(うち同伴4名)(先着順/電話受付)



### <美術館でフラワーレッスン Vol.21 「ハッピーイースター～春の巣ごもりアレンジ」>

日 時	2023年3月18日(土) ①10:30~12:00 ②13:30~15:00
内 容	アンケートで要望の多かったイースターをテーマに、編み籠に卵オーナメントがアクセントのアレンジメント教室を開催しました。参加の方は一足早い春の花を籠いっぱいにあしらって、大変楽しく制作されました。
場 所	創作アトリエ
対 象	どなたでも(小学3年生以下は保護者同伴)
講 師	重田章子(日比谷花壇認定講師)
料 金	2,500円(入館外イベント)
参加人数	①19名(うち同伴5名) ②15名(うち同伴2名) (先着順/電話受付)



### <西口キッチンカー>

日 時	2022年4月~2023年3月 毎土・日・祝日 10:00~15:00
内 容	西口広場の利用が増え、令和3年度末に試験出店したキッチンカーが大変好評のため、毎週土日祝日に2店舗の出店を行いました。
場 所	「母の塔」付近
出店品目	ホットサンド、ホットドッグ、ケバブ、ハワイアンフード、かき氷等
延べ出店日数	97日
延べ出店数	175店舗
利用客数	6,050人



川崎市岡本太郎美術館は、2018年4月より「生田緑地共同事業体」(構成企業:(株)日比谷花壇、(株)日比谷アメニス、東急プロパティマネジメント(株))が指定管理者業務を行っています。

## 9. 川崎市文化芸術振興会議岡本太郎美術館部会

### 第1回

日 時 2023年3月3日(金) 14:00~15:50

場 所 創作アトリエ

出席委員

部会長 橋本善八(世田谷美術館副館長)  
委員 加藤弘子(東京都美術館企画調整課交流担当係長)  
杉浦幸子(武蔵野美術大学造形学部教授)  
長門佐季(神奈川県立近代美術館企画課長)  
藤嶋俊會(美術評論家)

議 事

・令和4年度事業経過・報告について

#### 1 展覧会事業

##### (1) 企画展

「小松美羽展 岡本太郎に挑む—靈性とマンダラ」展

「第26回岡本太郎現代芸術賞(TARO賞)」展

##### (2) 常設展

「太郎の創造展—創らなければ、世界はあまりにも退屈だ」展

「太郎とにらめっこ」展

#### 2 資料収集・整理、調査研究

#### 3 作品の保存・修復、貸出

#### 4 普及企画

#### 5 広報活動

#### 6 施設・設備の整備

##### (1) 施設・設備の整備

##### (2) 休館中の館内整備・補修

#### 7 その他：予算・決算、統計データ等について

##### (1) 予算・決算資料

##### (2) 統計データ

##### (3) 展覧会ポスター

・令和5年度事業予定について

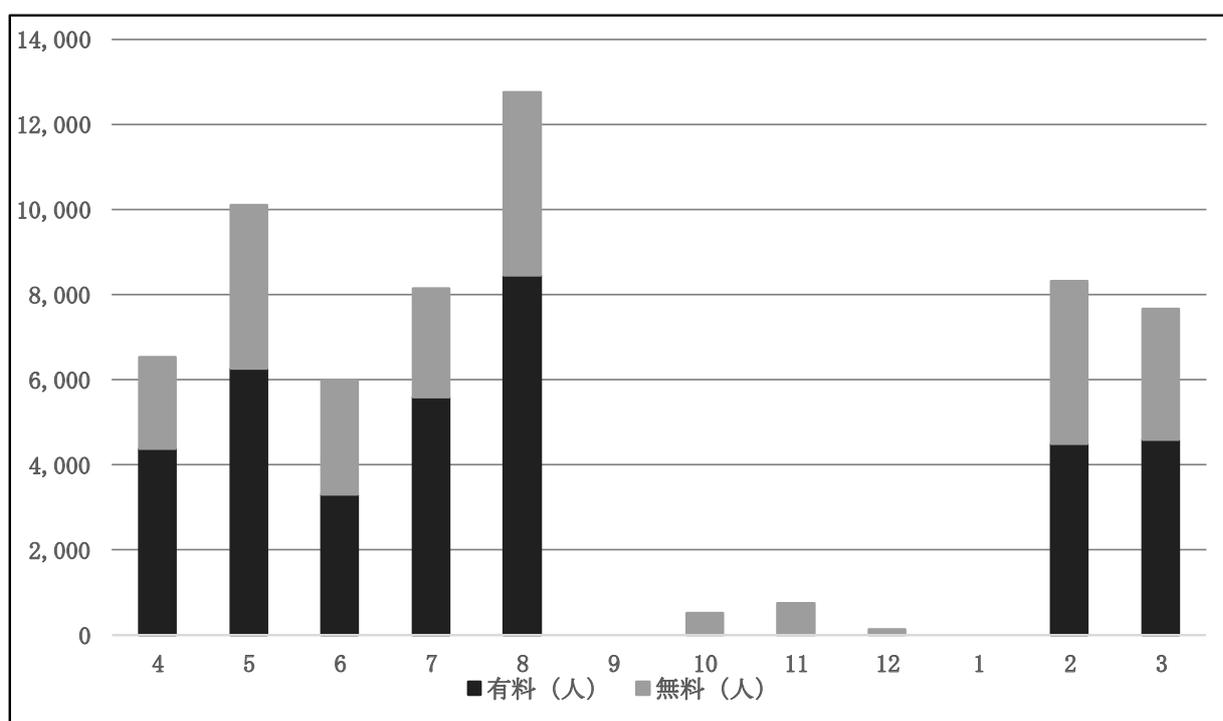
・令和4年度事業評価について

## II. 資料

### 1. 入館者数統計

#### ■令和4年度 月別入館者数■

月	開館日数	一日平均 (人)	有料 (人)	無料 (人)	合計 (人)
4	26	251	4,378	2,154	6,532
5	25	404	6,269	3,833	10,102
6	26	230	3,308	2,673	5,981
7	27	302	5,587	2,568	8,155
8	25	510	8,445	4,317	12,762
9	0	0	0	0	0
10	0	0	0	507	507
11	0	0	0	741	741
12	0	0	0	123	123
1	0	0	0	0	0
2	23	361	4,496	3,815	8,311
3	26	295	4,599	3,071	7,670
合計	178	342	37,082	23,802	60,884



※9月～1月まで、「母の塔」前広場等防水工事のため休館

## ■年度別入館者数■

	開館日数	有料入館者	無料入館者	合計	一日平均
平成11年度	124	43,420	29,593	73,013	586
平成12年度	292	49,532	31,837	81,369	279
平成13年度	298	36,363	34,613	70,976	238
平成14年度	298	36,466	38,259	74,725	247
平成15年度	293	36,199	32,296	68,495	234
平成16年度	287	34,607	34,183	68,790	240
平成17年度	293	38,682	34,382	73,064	249
平成18年度	296	58,619	56,197	114,816	388
平成19年度	296	43,061	27,360	70,421	237
平成20年度	294	42,545	29,443	71,988	245
平成21年度	293	44,541	30,906	75,447	257
平成22年度	284	38,422	31,611	70,033	247
平成23年度	287	50,053	37,989	88,042	307
平成24年度	284	45,777	37,260	83,037	292
平成25年度	298	36,322	33,862	70,184	236
平成26年度	296	34,370	38,800	73,170	247
平成27年度	296	35,253	37,330	72,583	245
平成28年度	294	36,417	38,922	75,339	256
平成29年度	288	33,389	40,129	73,518	255
平成30年度	299	40,277	37,685	77,962	261
平成31/ 令和元年度	289	34,933	34,204	69,137	239
令和2年度	256	35,154	23,895	59,049	231
令和3年度	294	50,255	31,689	81,944	279
令和4年度	178	37,082	23,802	60,884	342
合計	6,707	971,739	876,502	1,848,241	275

※岡本太郎美術館の開館日：1999（平成11）年10月30日

## 2. 美術館事業 予算・決算概要

### 予算概要

(単位：千円)

	事項名	予算額	主な内容
歳出	<b>非常勤職員経費</b>	<b>13,413</b>	
	報酬	11,011	会計年度任用職員（館長・旧非常勤）
	給料	2,070	再任用職員
	職員手当等	332	再任用職員
	<b>学芸業務事業費</b>	<b>42,770</b>	
	報酬	2,950	会計年度任用職員（旧臨職）
	報償費	638	資料収集・評価審査謝礼 企画展関連イベント協力謝礼 教育普及関連イベント協力謝礼
	旅費	1,294	企画展等調査、作品集荷返却
	需用費	1,608	図書・雑誌、展示上映用消耗品 情報事業用消耗品、教育普及用消耗品 燃料費、食糧費
	役務費	1	公園施設設置許可手数料
	委託料	25,690	展示上映事業（企画展、常設展） 情報事業、教育普及事業 保守委託（作品燻蒸） 清掃委託（岡本かの子文学碑）
	使用料及び賃借料	7,849	OA機器賃借料
	備品購入費	2,679	美術作品・資料、庁用備品、備品図書
	負担金補助及び交付金	61	全国美術館会議負担金 神奈川県博物館協会負担金 全国美術館会議総会出席負担金

(単位：千円)

	事項名	予算額	主な内容
歳 出	<b>管理運営事業費</b>	<b>115,209</b>	
	委託料	115,209	指定管理委託料
	<b>資料デジタル化事業費</b>	<b>4,579</b>	
	報酬	1,559	会計年度任用職員（旧臨職）
	需用費	260	資料デジタル化事業用消耗品
	委託料	2,760	資料デジタル化事業委託
	<b>美術館維持補修事業費</b>	<b>11,806</b>	
	委託料	11,805	空気熱源ヒートポンプ設備整備、券売機更新
	工事請負費	1	
	<b>岡本太郎作品補修事業費</b>	<b>5,324</b>	
委託料	5,324	《まひるの太陽》、《失われた記憶》、《創世記》、《双子座》、《プロフィール》、《遭遇》、《愛撫》、《呼ぶ》、《玉を抱く女》、《眼と眼》	
<b>計</b>		<b>193,101</b>	

歳 入	使用料	38,251	観覧料
	その他使用料	1,289	カフェテリア使用料、資料等特別利用料
	雑入	4,185	図録等売上、イベント参加料、各種助成金
<b>計</b>		<b>43,725</b>	

**決算概要**

(単位：千円)

	事項名	決算額	主な内容
歳出	<b>非常勤職員経費</b>	<b>12,908</b>	
	報酬	12,908	会計年度任用職員（館長・旧非常勤）
	給料	0	再任用職員
	職員手当等	0	再任用職員
	<b>学芸業務事業費</b>	<b>41,659</b>	
	報酬	2,619	会計年度任用職員（旧臨職）
	報償費	628	資料収集・評価審査謝礼 企画展関連イベント協力謝礼 教育普及関連イベント協力謝礼
	旅費	951	企画展等調査、作品集荷返却
	需用費	1,713	図書・雑誌、展示上映用消耗品 情報事業用消耗品、教育普及用消耗品 燃料費、食糧費
	役務費	94	キャッシュレス決済導入に向けた登録申請、キャッシュレス決済手数料
	委託料	25,078	展示上映事業（企画展、常設展） 情報事業、教育普及事業 保守委託（作品燻蒸） 清掃委託（岡本かの子文学碑）
	使用料及び賃借料	7,872	OA機器賃借料、キャッシュレス決済端末賃借料
	備品購入費	2,044	美術作品・資料、庁用備品
負担金補助及び交付金	660	全国美術館会議負担金 神奈川県博物館協会負担金 頭神の夢展準備年度負担金	

(単位：千円)

	事項名	決算額	主な内容
歳出	<b>管理運営事業費</b>	<b>115,209</b>	
	委託料	115,209	指定管理委託料
	<b>資料デジタル化事業費</b>	<b>4,361</b>	
	報酬	1,520	会計年度任用職員（旧臨職）
	需用費	234	資料デジタル化事業用消耗品
	委託料	2,607	資料デジタル化事業委託
	<b>美術館維持補修事業費</b>	<b>14,609</b>	
	委託料	11,472	空気熱源ヒートポンプ設備整備、券売機更新、配線整備
	工事請負費	3,137	ガラス交換工事、バリアフリー対応工事
	<b>岡本太郎作品補修事業費</b>	<b>3,080</b>	
委託料	3,080	作品整備（《母の塔》、《樹霊Ⅰ》、《女》、《月の顔》）、作品補修（《ハンネス・シュナイダー記念碑》、《東京オリンピック参加記念メダル》）、台座整備	
計		<b>191,826</b>	

歳入	使用料	25,510	観覧料（キャッシュレス決済分除く）
	その他使用料	1,098	カフェテリア使用料、資料等特別利用料、観覧料（キャッシュレス決済分）
	雑入	714	図録等売上、イベント参加料、各種助成金
計		<b>27,322</b>	

### III. 組織名簿 (令和4年度)

#### 川崎市文化芸術振興会議岡本太郎美術館部会委員名簿

(任期 2022年11月1日～2023年9月30日)

部会長	橋本善八 (世田谷美術館副館長)
委員	加藤弘子 (東京都美術館企画調整課交流担当係長)
委員	杉浦幸子 (武蔵野美術大学造形学部教授)
委員	長門佐季 (神奈川県立近代美術館企画課長)
委員	藤嶋俊會 (美術評論家)

#### 川崎市岡本太郎美術館 職員名簿

館長	土方明司	学芸員 (学芸)	喜多春月
副館長	佐々木智子	学芸員 (学芸)	富永ももこ
課長補佐・学芸員 (普及企画)	佐藤玲子	会計年度任用職員 (普及企画)	尾崎美幸
担当係長 (管理)	山崎千加子	会計年度任用職員 (普及企画)	鈴木亜優
担当係長・学芸員 (学芸)	片岡香	会計年度任用職員 (普及企画)	千村曜子
事務職員 (学芸)	石原輝美	会計年度任用職員 (学芸)	出口智佳子
事務職員 (管理)	那須川慧		

## IV. 川崎市岡本太郎美術館概要

### 美術館の目的

川崎市岡本太郎美術館は、川崎市ゆかりの芸術家岡本太郎氏から寄贈された美術作品及び資料をコレクションの中心として岡本太郎芸術の背景となった両親のかの子、一平の芸術、並びに近現代美術についての収集と展示を主な事業としています。また新しい芸術を創造するための収集、展示などを行い、市民の利用に供するものとします。

更には、単なる美術、芸術鑑賞の場にとどまることなく、市民の美術、芸術に関する創造活動を促進し、市民の芸術及び文化の発展に寄与することを目的としています。

### 美術館事業内容

#### 収集・保存

岡本太郎、一平、かの子に関する作品、資料、また近現代の美術作品を収集し、収蔵庫での燻蒸や必要に応じて資料の修復を行うなど、作品の保存管理を行います。

#### 調査研究

- ・岡本太郎、一平、かの子作品とその周辺の美術、国内外の現代美術に関する調査と研究。
- ・美術館における展示方法や作品・資料の修復、保存の研究。
- ・美術館の普及活動における調査研究。

#### 展 示

(常設展示)

常設展示室では、岡本太郎の作品の紹介とその背景となる一平、かの子の作品、資料の展示替えを年4回行います。

(企画展示)

企画展示室では、岡本太郎芸術に関連するテーマ展、新人作家展、子供向け展覧会など幅広いジャンルに渡る企画展を年4回の割合で行います。

#### 情報・出版

ガイダンスホールでは、岡本太郎作品や芸術についての映像を来館者に無料で提供します。また美術館ホームページやミュージアムニュースなどさまざまなメディアを通して外部への情報を発信し、美術館と人とのコミュニケーション作りをめざしています。

#### 普 及

子どもから成人まで、さまざまな年齢層に応じ、ワークショップ、講演会、講座などのイベントや、貸出教材、ビデオ等での岡本太郎や美術館の紹介など、だれもが気軽に美術に親しめるための普及活動を行います。また他の美術館、教育施設と連携したイベント等の事業にも活動を広げていきます。

### 美術館沿革

- 平成3年 4月 川崎市市民ミュージアムにて「川崎生まれの鬼才・岡本太郎」展開催  
11月 岡本太郎氏の所有する主要作品 352点が寄贈される(第一次)
- 平成5年 1月 岡本太郎氏に川崎市名誉市民を贈る  
岡本太郎氏の所有する主要作品 1,427点が追加寄贈される(第二次)
- 4月 岡本太郎記念館準備室 発足  
川崎市市民ミュージアムにて「TARO 万華鏡」展開催
- 平成6年 4月 岡本太郎記念館準備室から岡本太郎美術館準備室に名称変更

- 平成7年 11月 広島市現代美術館にて「岡本太郎」展開催
- 平成8年 1月 岡本太郎逝去（享年84歳）
- 6月 アートガーデンで川崎「岡本太郎追悼」展開催
- 11月 生田緑地にて美術館建設工事着工
- 平成9年 9月 新百合トゥエンティワンで「'97 TARO」展開催
- 平成10年 5月 岡本敏子氏により、青山のアトリエに岡本太郎記念館が開館する
- 平成11年 2月 美術館建設工事、展示工事竣工（工期2年3ヶ月）
- 4月 岡本太郎美術館準備室から川崎市岡本太郎美術館に名称変更  
村田慶之輔氏が館長に就任、シンボルタワー「母の塔」工事竣工
- 10月 川崎市岡本太郎美術館開館、開館記念展「多面体・岡本太郎一哄笑するダイナミズム」開催
- 平成15年 4月 岡本敏子氏の所有する岡本太郎関連資料1,827点が寄贈される（第三次）
- 平成16年 3月 多摩区役所1Fロビーに《樹霊》設置
- 4月 「肉体のシュルレアリスム 舞踏家土方巽抄」展（2003年）が、第35回舞踏批評家協会賞を受賞
- 10月 開館5周年記念展「テレビ発掘 まる裸の太郎」開催
- 平成17年 3月 北代省三氏の所有する同氏の関連資料が寄贈される
- 4月 岡本太郎の養女・岡本敏子逝去
- 10月 多摩区役所1Fロビーに《樹霊》にかわり《月の顔》設置
- 平成18年 2月 入館者50万人達成
- 平成21年 4月 開館10周年記念展「岡本太郎の絵画」開催
- 平成23年 2月 岡本太郎生誕100年 誕生日記念イベント開催
- 3月 東京国立近代美術館で「生誕100年 岡本太郎」展開催
- 4月 「生誕100年人間・岡本太郎」展開催
- 10月 岡本太郎生誕100年記念イベント ダンス公演「TAROと踊ろう！」開催
- 平成24年 3月 入館者100万人達成
- 4月 北條秀衛氏が館長に就任、村田慶之輔氏が名誉館長に就任
- 平成25年 3月 池田龍雄氏の所有する同氏の関連資料が寄贈される
- 4月 生田緑地一部指定管理者制度導入
- 平成26年 3月 生田緑地西口園路開通
- 7月 川崎市制90周年記念展「岡本太郎とアール・ブリュット 生の芸術の地平へ」開催
- 10月 開館15周年記念展「TARO賞の作家Ⅱ」開催
- 11月 開館15周年記念イベント「TARO祭り」開催
- 平成27年 2月 《母の塔》補修工事完了
- 4月 川崎市岡本太郎美術館資料収集委員会、資料評価委員会廃止
- 6月 川崎市岡本太郎美術館協議会廃止  
川崎市文化芸術振興会議施設部会設置
- 平成30年 10月 入館者150万人達成
- 平成31年 7月 開館20周年記念展「これまでの企画展みんな見せます！」開催
- 令和3年 4月 土方明司氏が館長に就任
- 令和4年 7月 大阪中之島美術館にて「展覧会 岡本太郎」開催
- 10月 東京都美術館にて「展覧会 岡本太郎」開催

令和5年 1月 愛知県美術館にて「展覧会 岡本太郎」開催

2月 多摩区役所1Fロビーに設置された《月の顔》を常設展「岡本太郎とにらめっこ」に展示

## 施設・設備概要

### 常設展示室 (1,026 m<sup>2</sup>)

岡本太郎の多岐にわたる分野を越えた幅広い芸術作品や著作、パフォーマンス、フィールドワーク等の活動、また思想的な背景となる民族学やパリ時代での交友など多面体の岡本太郎の軌跡を伝えるためには、その表現世界の広がりに応える展示環境が不可欠でした。

常設展示室は、芸術活動の分野や内容、作品の特徴や形状、時代毎の傾向などによって、展示室全体が複雑に分節され、それぞれに独自の空間と役割を与えられた部屋が柔らかく結ばれた迷路のように作られています。そこには順路はなく来館者は迷宮の様な空間を歩きながら岡本太郎と出会い、その断片を発見する旅がはじまるのです。

各ゾーンには作品を映像・グラフィックと共に見せる絵画ゾーン、作品そのものによって空間を構成し、照明効果、映像の演出によって様々な表情を見せる彫刻のゾーン、また多面的な活動をわかりやすく紹介する展示空間など、それぞれが岡本太郎を訪ねる旅の一場面となっています。

これら従来の作品を単に鑑賞する美術館から、子供から大人まで、理屈抜きに岡本太郎を肌で感じ体験できる展示空間として、楽しんでいただけます。

### 企画展示室 (828 m<sup>2</sup>)

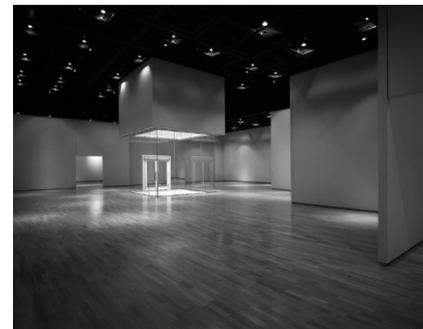
岡本太郎に関わる展示だけでなく、新人作家の紹介や、現代美術、子供の創造性を高める参加型の展覧会など様々な展示に対応できる空間です。中央に外光を取り入れるための光庭が配置され、828 m<sup>2</sup>の空間は可動壁によって、いくつものパターンの展示空間を作ることができます。

### 母の塔

岡本太郎美術館のシンボルタワー「母の塔」は、「大地に深く根ざした巨木のたくましさ」と「ゆたかでふくよかな母のやさしさ」「天空に向かって燃えさかる永遠の生命」をテーマとして製作されました。製作にあたっては原型を3次元解析して得た座標数値を基に、正確に再現しています。

外装のGRCパネルは高い強度と精度管理のしやすさから、またクラッシュタイルは3次曲線に追随し、かつ目地処理が容易であることから選ばれました。外装の「タローホワイト」と名付けた特殊な色のタイルは、光を浴びるとゆっくりと表情を変え、微妙な歪みや揺らぎを見ることができます。

施工に際しては、空中における3次元座標の管理、複雑な形状とデリケートな作業、合理的な仮設計画等から、全ての作業を作業床で完了させるジャッキアップ工法が取り入れられ、先端部分から順に完成させては押し上げる、まるで大地から生えてくるような、制作のプロセスそのものもダイナミックで芸術的な施工方法で完成しました。



- 名称・・・・・・母の塔
- 原作者・・・・・・岡本太郎
- 原型制作年・・1971年
- 設計・・・・・・川崎市教育委員会、現代芸術研究所
- 施工・・・・・・戸田・北島共同企業体
- 建物用途・・・・工作物（屋外彫刻）
- 構造・・・・・・鉄骨造（塔体パイプトラス+鋳鋼ジョイント）
- 全高・・・・・・30m
- 工法・・・・・・ジャッキアップ工法
- 支持杭・・・・現場造成杭（機械掘深礎工漬）径2m、7本
- 外装・・・・・・外殻 GRCクラッシュパネル  
仕上 クラッシュタイル（スコルト加工）
- 人形彫刻・・・・FRPブロンズ仕上 16体 H=3.0~5.6m  
内部 常温亜鉛メッキ鉄骨補強
- その他設備・・照明設備、避雷



## V. 川崎市岡本太郎美術館条例・規則

### 条例

(目的及び設置)

第1条 川崎市ゆかりの芸術家岡本太郎を中心とした美術作品及び資料の収集、展示等を行い、市民の利用に供するとともに、市民の美術に関する創造的活動を促進し、もって市民の芸術及び文化の発展に寄与するため、川崎市岡本太郎美術館（以下「美術館」という。）を設置する。

(位置)

第2条 美術館の位置は、川崎市多摩区枳形7丁目1番5号とする。

(事業)

第3条 美術館は、第1条の目的を達成するため、おおむね次の事業を行う。

- (1) 美術作品及び資料（以下「美術作品等」という。）の収集、保管、展示等を行うこと。
- (2) 美術作品等に関する専門的及び技術的な調査研究を行うこと。
- (3) 美術作品等に関する情報の提供を行うこと。
- (4) 講演会、講習会、研究会等を開催すること。
- (5) 博物館、図書館、学校、研究所その他の関係機関と協力し、情報の交換、美術作品等の相互貸借等を行うこと。

(職員)

第4条 美術館に館長その他必要な職員を置く。

(指定管理者)

第5条 市長は、法人その他の団体であつて次の要件を満たすものとしてその指定するもの（以下「指定管理者」という。）に美術館の管理を行わせる。

- (1) 美術館の管理を行うに当たり、市民の平等な利用が確保できること。
- (2) 事業計画書の内容が、美術館の効用を最大限に発揮するとともに管理経費の縮減が図られるものであること。
- (3) 事業計画書の内容に沿った美術館の管理を安定して行う能力を有すること。

2 前項の指定を受けようとするものは、事業計画書その他市長が必要と認める書類を市長に提出しなければならない。

3 市長は、第1項の指定をしたときは、その旨を告示する。

(指定管理者が行う管理の基準)

第6条 指定管理者は、この条例及びこれに基づく規則の規定に従い、美術館の管理を行わなければならない。

(指定管理者が行う業務の範囲)

第7条 指定管理者は、次に掲げる業務を行わなければならない。

- (1) 美術館の施設及び設備の維持管理に関すること。
- (2) 美術館の広報活動に関すること。
- (3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の管理に関する事務のうち、市長が必要と認める業務

(開館時間及び休館日)

第8条 美術館の開館時間及び休館日は、次のとおりとする。ただし、指定管理者は、必要があると認めるときは、あらかじめ市長の承認を得て、開館時間を変更し、又は臨時に開館し、若しくは休館することができる。

開館時間	午前9時30分から午後5時まで
休館日	(1) 月曜日（国民の祝日に関する法律（昭和23年法律第178号）に規定する休日（以下「休日」という。）を除く。） (2) 休日の翌日（土曜日、日曜日及び休日を除く。） (3) 12月29日から翌年の1月3日までの日（前2号に掲げる日を除く。）

(観覧料)

第9条 常設展又は企画展の展示会場へ入場しようとする者は、別表第1に定める観覧料を納付しなければならない。

(特別利用)

第10条 美術作品等について熟覧、模写、模造、撮影又は原板使用（以下「特別利用」という。）をしようとする者は、市長の許可を受けなければならない。

2 前項の許可を受けた者は、別表第2に定める区分に応じ同表に定める特別利用料を納付しなければならない。

3 特別利用料は、許可と同時に納付しなければならない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、この限りでない。

4 市長は、第1項の許可を受けた者がその条件に違反したとき、又は違反するおそれがあるとき、その他市長が管理上支障があると認めるときは、当該許可を取り消し、又は特別利用を制限し、若しくは停止することができる。

(受講料等)

第11条 市長は、第3条第4号に規定する事業を行うに当たっては、受講料又は入場料を徴収することができる。

2 前項の受講料及び入場料の額は、市長がその都度定める。

(観覧料等の減免)

第12条 市長は、特に必要があると認めるときは、第9条に規定する観覧料及び第10条第2項に規定する特別利用料（以下「観覧料等」という。）を減額し、又は免除すること

ができる。

(観覧料等の還付)

第13条 既納の観覧料等は、還付しない。ただし、市長が特別の理由があると認めるときは、その全部又は一部を還付することができる。

(入館等の制限)

第14条 指定管理者は、他人の迷惑となるおそれのある者その他管理上支障があると認められる者については、入館を断り、又は退館させることができる。

(損害の賠償)

第15条 美術作品等又は施設若しくは設備を損傷し、又は滅失させた者は、市長の指示に従いこれらを原状に回復し、又はその損害を賠償しなければならない。ただし、市長がやむを得ない理由があると認めるときは、賠償額を減額し、又は免除することができる。

(委任)

第16条 この条例の施行に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

この条例の施行期日は、市長が定める。(平成11年6月30日規則第69号で平成11年10月30日から施行)

附 則 (平成12年12月21日条例第79号)

この条例は、平成13年4月1日から施行する。

附 則 (平成17年9月30日条例第88号)

この条例は、平成18年4月1日から施行する。

附 則 (平成18年12月14日条例第77号)

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (平成19年3月20日条例第18号抄)

この条例は、平成19年4月1日から施行する。

附 則 (平成19年10月9日条例第47号)

この条例は、学校教育法等の一部を改正する法律(平成19年法律第96号)の施行の日又はこの条例の公布の日のいずれか遅い日から施行する。

附 則 (平成21年12月24日条例第47号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成22年4月1日から施行する。

(川崎市スポーツ振興審議会条例等の一部改正に伴う経過措置)

12 この条例の施行の日(以下「施行日」という。)前に教育委員会が行った処分その他の行為で、施行日においてこの条例の附則の規定による改正後の次に掲げる条例の規定により当該行為を行うべきものが市長となるものは、施行日以後においては、市長が行った処分その他の行為とみなす。

- (1) 川崎市スポーツ振興審議会条例
- (2) 川崎市とどろきアリーナ条例
- (3) 川崎市体育館条例

(4) 川崎市スポーツセンター条例

(5) 川崎市武道館条例

(6) 川崎市市民ミュージアム条例

(7) 川崎市岡本太郎美術館条例

(8) 川崎市大山街道ふるさと館条例

附 則 (平成24年3月19日条例第4号)

この条例は、平成25年4月1日から施行する。ただし、第4条の次に4条を加える改正規定(第5条(指定管理者に美術館の管理を行わせることに係る部分を除く。))に係る部分に限る。)及び第12条の改正規定(同条を第16条とする部分を除く。)は、公布の日から施行する。

附 則 (平成27年3月23日条例第2号抄)

(施行期日)

1 この条例は、平成27年4月1日から施行する。ただし、次の各号に掲げる規定は、当該各号に定める日から施行する。

- (1) 第16条、第17条及び第20条の規定 平成27年5月1日
- (2) 第3条の規定 平成27年6月1日
- (3) 第19条の規定 平成27年7月1日
- (4) 第7条の規定 平成28年4月1日
- (5) 第12条、第14条及び第15条の規定 平成28年5月1日
- (6) 第2条、第4条、第11条、第13条及び第18条の規定 平成28年6月1日
- (7) 第6条の規定 平成28年9月1日
- (8) 第5条の規定 平成28年10月1日
- (9) 第8条の規定 平成28年11月1日

附 則 (平成28年3月24日条例第30号)

この条例は、平成28年4月1日から施行する。

附 則 (令和3年12月16日条例第81号抄)

(施行期日)

1 この条例は、令和4年4月1日から施行する。

別表第1 (第9条関係)

1 普通観覧料

(1) 常設展の観覧料

区分	個人	団体
高校生・大学生及び65歳以上の者	300円	1人につき 240円
一般	500円	1人につき 400円

備考

- 1 団体とは、20人以上をいう。
- 2 学齢に達しない者及び学校教育法(昭和22年法律第26号。以下「法」という。)第1条に規定する小学校、中学校、義務教育学校、中等教育学校の前期課程、特別支援学校その

他これらに準ずる教育施設に在学する者は、無料とする。

3 高校生・大学生とは、法第1条に規定する高等学校、中等教育学校の後期課程、大学及び高等専門学校、法第124条に規定する専修学校、法第134条に規定する各種学校その他これらに準ずる教育施設に在学する者をいう。

4 一般とは、前2項に規定する者及び65歳以上の者以外の者をいう。

5 企画展の観覧料を納付した者は、無料とする。

(2) 企画展の観覧料

1人につき2,000円の範囲内で市長がその都度定める。

2 共通利用券

種別	金額
100円券 12枚つづり	1,000円
100円券 25枚つづり	2,000円

備考 共通利用券は、次に掲げる施設の入場等に利用することができる。ただし、当該各施設への団体(20人以上をいう。)の入場等については、この限りでない。

- (1) 美術館の常設展又は企画展の展示会場への入場
- (2) 川崎市青少年科学館条例(昭和46年川崎市条例第24号)に規定する川崎市青少年科学館のプラネタリウムの一般投影又は特別投影の観覧
- (3) 川崎市立日本民家園条例(昭和42年川崎市条例第19号)に規定する川崎市立日本民家園への入園

3 特別入場券

市長は、7,000円の範囲内で定期券その他の特別入場券を発行することができる。

別表第2(第10条関係)

区分	単位	特別利用料
熟覧	1点 1日	200円
模写		1,000円
模造		1,000円
撮影	1点	300円
原板使用	1枚	2,000円

**条例施行規則**

(趣旨)

**第1条** この規則は、川崎市岡本太郎美術館条例(平成11年川崎市条例第25号。以下「条例」という。)の施行に関し必要な事項を定めるものとする。

(公告)

**第2条** 市長は、条例第5条第1項の規定により川崎市岡本太郎美術館(以下「美術館」という。)の管理を行わせるため、法人その他の団体(以下「法人等」という。)を指定しようとするときは、あらかじめ次に掲げ

る事項を公告する。

- (1) 管理を行わせる施設の名称及び所在地
- (2) 条例第5条第1項に規定する指定管理者(以下「指定管理者」という。)が行う管理の基準及び業務の範囲
- (3) 指定管理者の指定の予定期間(以下「指定予定期間」という。)
- (4) 条例第5条第2項の規定による事業計画書その他市長が必要と認める書類の提出(以下「事業計画書等の提出」という。)の方法
- (5) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める事項(事業計画書等の提出)

**第3条** 事業計画書等の提出は、市長が定める期間内にしなければならない。

2 条例第5条第2項に規定する事業計画書その他市長が必要と認める書類は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 指定予定期間に属する各年度の美術館の管理に係る事業計画書及び経費見積書
- (2) 定款又は寄附行為及び登記事項証明書(法人以外の団体にあつては、これらに相当する書類)
- (3) 事業計画書等の提出をする日(以下「提出日」という。)の属する事業年度の前事業年度における財産目録、貸借対照表及び損益計算書若しくは活動計算書又は収支計算書。ただし、提出日の属する事業年度に設立された法人等にあつては、その設立時における財産目録とする。
- (4) 提出日の属する事業年度及び翌事業年度における法人等の事業計画書及び活動予算書又は収支予算書
- (5) 役員の名簿及び履歴書
- (6) 組織及び運営に関する事項を記載した書類
- (7) 現に行っている業務の概要を記載した書類
- (8) 前各号に掲げるもののほか、市長が必要と認める書類(指定管理予定者)

**第4条** 市長は、事業計画書等の提出をした法人等が2以上あるときは、条例第5条第1項各号に掲げる要件(以下「指定要件」という。)を満たし、かつ、次に掲げる業務を行う上で最も適切と認めるものを指定管理者の予定者(以下「指定管理予定者」という。)とする。

- (1) 美術館の施設及び設備の維持管理に関すること。
  - (2) 美術館の広報活動に関すること。
  - (3) 前2号に掲げるもののほか、美術館の管理に関する事務のうち、市長が必要と認める業務
- 2 市長は、事業計画書等の提出をした法人等が1である場合において、指定要件を満たすときは、当該法人等を指定管理予定者とする。

3 市長は、前条第1項に規定する市長が定める期間内に事業計画書等の提出をした法人等がないとき、又は前2項の指定管理予定者がいないときは、再度、第2条の規定による公告を行う。

(通知)

**第5条** 市長は、条例第5条第1項の指定をしたときは、指定された法人等に対し、指定管理者指定書（第1号様式）により通知する。

(協定)

**第6条** 指定管理者は、市長と美術館の管理に関する協定を締結するものとする。

2 前項の協定においては、次に掲げる事項を定めるものとする。

- (1) 事業計画に関する事項
- (2) 管理に要する費用に関する事項
- (3) 管理を行うに当たって保有する個人情報の保護に関する事項
- (4) 管理の業務の報告に関する事項
- (5) 指定の取消し及び管理の業務の停止に関する事項
- (6) 川崎市契約条例（昭和39年川崎市条例第14号）に規定する作業報酬に関する事項
- (7) その他市長が必要と認める事項

(事務の委任)

**第7条** 次に掲げる事務は、川崎市岡本太郎美術館長（以下「館長」という。）に委任する。

- (1) 条例第10条に規定する特別利用（以下「特別利用」という。）の許可、許可の取消し等に関すること。
- (2) 条例第12条に規定する観覧料等（以下「観覧料等」という。）の減額又は免除に関すること。
- (3) 条例第13条の規定による観覧料等の還付に関すること。

(観覧券等の交付)

**第8条** 館長は、条例第9条の規定による観覧料の納付と引換えに観覧券、共通利用券又は特別入場券を交付するものとする。

(特別入場券)

**第9条** 市長は、条例別表第1の3の規定により次の特別入場券を発行することができる。

- (1) 定期券
- (2) 共通入館券
- (3) 優待券
- (4) 前売券

2 前項の特別入場券を発行する場合及びその額は、その都度市長が定める。

(特別利用の申請等)

**第10条** 条例第10条第1項の規定により特別利用をし

ようとする者は、特別利用許可申請書（第2号様式）をあらかじめ館長に提出しなければならない。

2 館長は、特別利用を許可したときは、当該申請をした者に特別利用許可書（第3号様式）を交付するものとする。

3 館長は、特別利用を許可するときは、次に掲げる条件を付することができる。

- (1) 条例第3条第1号に規定する美術作品等（以下「美術作品等」という。）の模写、模造、撮影若しくは原板使用によって得たもの（以下「模写資料等」という。）を展示し、又は出版物等に掲載するときは、美術館の所蔵に係るものであることを、適切な方法で表示すること。
  - (2) 無断で模写資料等の複製、出版物等への掲載、上映、放送又はこれらに類する行為をしないこと。
  - (3) 美術作品等を撮影したときは当該撮影によって得たフィルム等を、模写資料等を出版物等へ掲載したときは当該出版物等を本市に提供すること。
  - (4) その他館長が必要と認める事項
- (特別利用の不許可)

**第11条** 館長は、次に掲げる美術作品等については、特別利用を許可しない。

- (1) 特別利用によって美術作品等の保存に影響を及ぼすおそれがあると認めるもの
- (2) 寄託された美術作品等で寄託者の同意を得ていないもの
- (3) 著作権が存する美術作品等で著作権者の同意を得ていないもの
- (4) その他館長が特別利用することを不適当と認めるもの

2 特別利用は、館長の指示に従って行わなければならない。

(観覧料等の減免)

**第12条** 条例第12条の規定により館長が観覧料等を減額し、又は免除することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

(1) 観覧料

ア 学校教育法（昭和22年法律第26号）第1条に規定する幼稚園、小学校、中学校、高等学校、中等教育学校、特別支援学校その他これらに準ずる教育施設が教育課程に基づく教育活動として観覧を行う場合 全額

イ 児童福祉法（昭和22年法律第164号）第7条第1項に規定する児童福祉施設が当該施設の活動として観覧を行う場合 全額

ウ 川崎市の発行する福寿手帳の交付を受けている者が常設展の観覧を行う場合 全額

エ 身体障害者福祉法（昭和24年法律第283号）第15条第4項の規定による身体障害者手帳、戦傷病者特別援護法（昭和38年法律第168号）第4条第1項又は第2項の規定による戦傷病者手帳、原子爆弾被爆者に対する援護に関する法律（平成6年法律第117号）第2条第3項の規定による被爆者健康手帳、療育手帳（知的障害者の福祉の充実を図るため、児童相談所又は知的障害者更生相談所において知的障害と判定された者に対して支給される手帳で、その者の障害の程度その他の事項の記載があるものをいう。）、精神保健及び精神障害者福祉に関する法律（昭和25年法律第123号）第45条第2項の規定による精神障害者保健福祉手帳等（以下「身体障害者手帳等」という。）の交付を受けている者（これらの者の介護者を含む。）が観覧を行う場合 全額

オ その他館長が特に必要があると認める場合 その都度館長が定める額

(2) 特別利用料

ア 市又は国若しくは他の地方公共団体がその事業の用途に供することを目的とする場合 全額

イ 私立の博物館、図書館、学校、研究所等がその事業の用途に供することを目的とする場合 全額

ウ 専ら学術研究の用途に供することを目的とする場合 全額

エ その他館長が特別の理由があると認める場合 その都度館長が定める額

2 前項第1号の規定による観覧料の減額又は免除を受けようとする場合にあつては観覧料減免申請書（第4号様式）を、前項第2号の規定による特別利用料の減額又は免除を受けようとする場合にあつては特別利用料減免申請書（第5号様式）を、あらかじめ館長に提出しなければならない。ただし、前項第1号ウの場合にあつては川崎市の発行する福寿手帳の、同号エの場合にあつては身体障害者手帳等の提示をもって、当該申請書の提出に代えることができる。

(観覧料等の還付)

**第13条** 条例第13条ただし書の規定により観覧料等を還付することができる場合及びその額は、次のとおりとする。

- (1) 災害その他の事故により観覧又は特別利用ができない場合 全額
- (2) 管理上の必要から入場を禁止し、若しくは制限し、又は特別利用の許可を取り消す場合 全額
- (3) 前2号に定めるもののほか、館長が特別の理由があると認める場合 その都度館長が定める額

(遵守事項)

**第14条** 美術館を利用する者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 建物、附属設備又は美術作品等を汚損し、若しくは損傷し、又はそれらのおそれのある行為をしないこと。
- (2) 他人に迷惑をかけ、又はそのおそれのある行為をしないこと。
- (3) 展示会場において許可を受けずに、撮影、模写等を行わないこと。
- (4) 所定の場所以外で飲食又は喫煙をしないこと。
- (5) 前各号に定めるもののほか、館長が指定する事項（委任）

**第15条** この規則の施行について必要な事項は、市民文化局長が定める。

**附 則**

(施行期日)

1 この規則は、平成22年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 川崎市岡本太郎美術館協議会規則（平成11年川崎市教育委員会規則第7号）の規定により委嘱され、又は任命された委員で、この規則の施行の際現に在任する委員は、その任期が終了するまでの間、この規則の規定に基づき委嘱され、又は任命されたものとみなす。

**附 則**（平成25年3月29日規則第26号抄）

(施行期日)

1 この規則は、平成25年4月1日から施行する。

(経過措置)

2 改正前の規則の規定により調製した帳票で現に残存するものについては、当分の間、必要な箇所を訂正した上、引き続きこれを使用することができる。

**附 則**（平成27年5月27日規則第49号）

この規則は、平成27年6月1日から施行する。

**規 則**（平成28年3月31日規則第25号）

この規則は、平成28年4月1日から施行する。

第1号様式

第2号様式

第3号様式

第4号様式

第5号様式



令和4年度

川崎市岡本太郎美術館年報

2023年10月発行

編集・発行／川崎市岡本太郎美術館

川崎市多摩区栞形7-1-5 生田緑地内

TEL 044-900-9898

**TARO OKAMOTO**  
**MUSEUM OF ART**  
**KAWASAKI**